

經 濟 学 部

履 修 要 項

昭 和 60 年 度

駒 澤 大 學

学 年 暦

前 期

- 4月8日(月) {入学式(学部・短大)
{积尊降誕会
- 9日(火) }
} 新入生オリエンテーション
- 12日(金) }
} 在校生成績発表(学部・短大)
- 11日(木) }
} 成績質疑応答
- 16日(火) }
} 授業開始
- 13日(土) 祝禱音楽法要の日
- 15日(月)
- 18日(木) }
} 履修届受付(学部・短大1年次生)
- 19日(金)
- 22日(月) }
} 履修届受付(学部2.3.4年次生・短大2.3年次生)
- 27日(土) }
} (学部により受付日が異なる)
- 29日(月) 天皇誕生日
- 5月1日(水) 祝禱日
- 3日(金) 憲法記念日
- 4日(土) 研修日(全学休業)
- 5日(日) こどもの日
- 14日(火) }
} 春季健康診断(2.3.4年次生対象)
- 23日(木)
- 15日(水) 祝禱音楽法要の日
- 6月1日(土) 祝禱日
- 10日(月) 卒業論文論題受付締切(正午)
- 15日(土) 祝禱音楽法要の日
- 7月1日(月) 祝禱日
- 10日(水) }
} 中間試験(授業平常通り)
- 16日(火)
- 15日(月) 盂蘭盆会
- 17日(水) }
} 前期定期試験(前期終了科目)
- 18日(木) }
} (授業休講)
- 19日(金) 夏季休暇第1日

後 期

- 9月9日(月) 授業再開
- 12日(木) 前期定期試験欠試届(追試申込)受付締切
- 12日(木) }
} 外国語指定届受付(仏教・文(除英米文)・法学部・短大国文・英文の1年次生及び経済学部の2年次生)
- 19日(木)
- 15日(日) 敬老の日
- 17日(火) 祝禱音楽法要の日
- 17日(火) }
} 前期定期試験成績発表及び再試験申込受付
- 18日(水)
- 23日(月) 秋分の日
- 25日(水) }
} 前期追・再試験(授業平常通り)
- 27日(金)

- 29日(日) 両祖(道元・瑩山禅師)忌
- 10月1日(火) 祝禱日
- 1日(火) }
} 秋季健康診断(1年次生対象)
- 4日(金)
- 3日(木) }
} 専攻コース指定届受付(歴史・社会学科1年次生)
- 4日(金)
- 5日(土) 達磨忌
- 10日(木) 体育の日
- 11日(金) }
} 前期追・再試験成績発表
- 12日(土)
- 15日(火) 第103回開校記念日(全学休業)
- 16日(水) 祝禱音楽法要の日
- 11月1日(金) 祝禱日
- 3日(日) 文化の日
- 13日(水) }
} 転部科試験願書受付
- 15日(金)
- 15日(金) 祝禱音楽法要の日
- 21日(木) 太祖(瑩山禅師)降誕会
- 23日(土) 勤労感謝の日
- 29日(金) 転部科試験
- 12月1日(日) 祝禱日
- 4日(水) }
} 編入学試験願書受付
- 12日(木)
- 8日(日) 成道会
- 10日(火) 卒業論文受付締切(正午)
- 18日(水) 冬季休暇第1日
- 19日(木) 編入学試験
- 昭和61年
- 1月8日(水) 授業再開
- 15日(水) 成人の日
- 16日(木) }
} 定期試験(専門・基礎・教職科目)
- 27日(月)
- 26日(日) 高祖(道元禅師)降誕会
- 1月28日(火) }
} 定期試験(一般・外国語・保健体育科目)
- 2月5日(水)
- 1日(土) 祝禱日
- 7日(金) }
} 定期試験欠試届(追試申込)受付締切
- 11日(火) }
} 卒業論文口頭試問
- 15日(土) 建国記念の日
- 19日(水) 涅槃会
- 19日(水) }
} 成績発表及び追・再試験申込受付
- 20日(木) }
} (学部4年次生・短大生)
- 26日(水) }
} 追・再試験(学部4年次生・短大生)
- 26日(水) }
} 追試験(学部1.2.3年次生)
- 3月4日(火)
- 1日(土) 祝禱日
- 19日(水) 卒業生名簿発表
- 21日(金) 春分の日
- 25日(火) 卒業式(学部・短大)

経済学部学生諸君へ

この「履修要項」は、諸君が本学経済学部の学生として4年間の学園生活を過すために必要であると思われる学習上の基本的事項をまとめたものである。

経済学部における教育の主たる目標はすぐれた職業人であると同時にすぐれた社会人を育成し、社会の進展に貢献することにある。そのために諸君は、専門的な知識のほかに教養ある社会人として必要な人文・社会・自然について深い理解をもつことが要求される。

またわが国経済の著しい国際化の傾向にともない、今後国際交流が一段と推進されると思われるが、国際社会で活躍するにはなによりも外国語を十分マスターしておくことが必要である。

諸君がこうした目標を達成できるように、本学部の教育課程は「一般教育科目」「外国語科目」「保健体育科目」「基礎教育科目」「専門教育科目」および「随意科目」から構成されており、4年間にわたり幅広く、体系的に学習できるよう十分配慮されている。

さらに経済学部の教育制度上の特徴は、「専門科目」に大幅な選択制を導入するとともに、少人数によるゼミナールを数多く開講している点である。こうした選択制とゼミナールによる教育を重視しているのは、学生諸君の自主的な学習を尊重することにより諸君の能力を効果的に発揮させ、個性豊かな人間を形成することを教育の最終目標としているためである。

諸君はこうした経済学部の教育課程の特質を十分に理解し、将来どのような局面に遭遇しても問題点の所在を的確に把握し、その解決方法を自らの努力と判断で見出して行く能力を身につけてもらいたいと念じている。

最後に、この「履修要項」を熟読し、4年間の貴重な大学生活を計画的に、しかも悔のない充実したものととして送られることを切に期待するものである。

駒沢大学経済学部

目 次

I	単位制と学年制	(2)
1.	単位制と学年制	(2)
2.	授業科目の単位計算	(2)
3.	授業科目の区分	(2)
II	卒業に必要な単位数と学士号	(3)
1.	卒業に必要な単位数	(3)
2.	学 士 号	(6)
III	授業科目の履修方法	(7)
1.	一般教育科目の履修方法	(7)
2.	外国語科目の履修方法	(8)
3.	保健体育科目の履修方法	(10)
4.	基礎教育科目の履修方法	(14)
5.	専門教育科目の履修方法	(14)
6.	随意科目の履修方法	(18)
7.	再履修科目の履修方法	(18)
	※コード番号について	(19)
IV	履修科目の登録(履修届)とその作成順序	(21)
1.	履修科目の登録	(21)
2.	履修届記入上の注意	(22)
3.	履修届の作成順序	(23)
V	試験および成績評価	(24)
1.	定期試験	(24)
2.	中間試験	(24)
3.	追・再試験	(24)
4.	受験心得	(25)
5.	成績評価・単位認定	(25)
VI	進級について	(26)
VII	クラス制およびクラス主任	(27)
VIII	教職課程・資格講座	(27)
IX	事務取扱いについて	(28)
X	届書・願書について	(29)
XI	各種証明書取扱い窓口	(30)
	試験実施規程(抜萃)・進級規程・進級基準	(31)
	講 義 内 容	(35)

I 単位制と学年制

1. 単位制と学年制

授業科目の履修は「大学設置基準」に基づく単位制によって行う。単位制とは、各入学年度によって定められた一定の基準にしたがって授業科目を履修し、試験に合格することによって、その授業科目に与えられている単位を修得していく制度である。卒業所要単位を修得するまでの在学期間は4カ年以上（7カ年をこえてはならない）である。

また、単位の修得を体系的かつ合理的に進めるために、各年次において必修すべき科目と選択すべき科目が配当されている。

2. 授業科目の単位計算

授業科目の単位数は次のような基準によって定められている。

1単位とは1科目につき45時間を通じて行う学修活動のことである。この45時間の学修活動は教室内における授業時間と教室外で学生各自が自主的に行う自習時間からなっていて、授業時間と自習時間の割合は、授業科目によって異なっている。

3. 授業科目の区分

授業科目は次のように区分される。

1. 一般教育科目（人文分野・社会分野・自然分野）
2. 外国語科目（第1外国語・第2外国語）
3. 保健体育科目（講義・実技）
4. 基礎教育科目（必修科目）
5. 専門教育科目（必修科目・選択科目）
6. 随意科目（卒業に必要な単位に含まれない科目）
 - (a) 必修科目……必ず履修しなければならない科目
 - (b) 選択必修科目……数科目の中から所定の科目数または単位数を選び、必ず履修しなければならない科目
 - (c) 選択科目……自由に選び履修できる科目

Ⅱ 卒業に必要な単位数と学士号

1. 卒業に必要な単位数

経済学科

A. 60年度入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	146以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	5	10	18	
	第2外国語	4	8		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	4	16	84	
	選択	17	68		

B. 58年度・59年度入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	146以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	5	10	18	
	第2外国語	4	8		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	4	16	84	
	選択	17	68		

経済学科

C. 56年度・57年度入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	146以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	5	10	18	
	第2外国語	4	8		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	3	12	84	
	選択	18	72		

D. 55年度以前入学用適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	146以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	14	
	第2外国語	3	6		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	4	16	88	
	選択	18	72		

商 学 科

A. 60年度入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	36	} 146以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	5	10	18	
	第 2 外 国 語	4	8		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	2	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専門教育科目	必 修	3	12	84	
	選 択	18	72		

B. 57~59年度入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	36	} 146以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	5	10	18	
	第 2 外 国 語	4	8		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専門教育科目	必 修	3	12	84	
	選 択	18	72		

商 学 科

C. 56年度入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	36	} 146以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	5	10	18	
	第 2 外 国 語	4	8		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専門教育科目	必 修	1	4	84	
	選 択	20	80		

D. 55年度以前入学生適用

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一般教育科目	人 文 分 野	4	16	36	} 146以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外国語科目	第 1 外 国 語	4	8	14	
	第 2 外 国 語	3	6		
保健体育科目	講 義	1	2	4	
	実 技	1	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専門教育科目	必 修	2	8	88	
	選 択	20	80		

2. 学 士 号

大学に4カ年以上（7カ年をこえてはならない）在学し、卒業に必要な単位を修得した者には卒業証書を授与し、次の学士の称号が与えられる。

経済学科……経済学士 商学科……商学士

Ⅲ 授業科目の履修方法

※北海道教養部では、授業科目等に多少の変更を生ずる場合がある。

授業科目履修上の注意

- イ. 授業科目は、教授会の定めるところに従い各学年に配分する。ただし、随意科目はこの限りではない。
- ロ. 授業時間表の備考欄に番号が指定された科目は本人の学生番号のクラスで履修すること。（再履修または指定された学年で履修できなかった場合はこのかぎりではない）
- ハ. 各学年に配分された授業科目は、当該学年に限り履修することができる。ただし、下級学年に配当された授業科目を上級学年において履修することはさしつかえない。
- ニ. 各学年の履修科目数の最低および最高限度は、教授会の定めるところによる。
- ホ. 一度単位の認定を受けた授業科目は再履修することはできない。

1. 一般教育科目の履修方法

- イ. 一般教育科目は1年次および2年次の2年間に人文分野・社会分野・自然分野の各分野から定められた科目数・単位数を履修しなければならない。
- ロ. 「宗教学Ⅰ」を1年次、「宗教学Ⅱ」を2年次で必修とする。
- ハ. 2年次までに所定の科目数・単位数を修得していなければならない。

人文分野	4単位ずつ4科目	計16単位	} 合計9科目 36単位
社会分野	4単位ずつ3科目	計12単位	
自然分野	4単位ずつ2科目	計8単位	

分 野	授 業 科 目	単 位	履修科目数	修得単位	計	備 考
人文分野	宗教学Ⅰ（1年次必修）	4	} 「宗教学Ⅰ・宗教学Ⅱ」の2科目を含めて4科目選択必修	16	} 36	
	宗教学Ⅱ（2年次必修）	4				
	哲 学	4				
	論 理 学	4				
	倫 理 学	4				
	文 学	4				
社会分野	法 学 憲 法 (日本国憲法2単位を含む)	4	} 3科目選択必修	12		} 教員免許状を取得しようとするものは「法学憲法」を必修とする
	政 治 学 (2年次)	4				
	社 会 学 (2年次)	4				
	地 理 学	4				
	統 計 学	4				
文 化 人 類 学	4					
自然分野	自 然 科 学 概 論	4	} 2科目選択必修	8		
	数 学	4				
	心 理 学	4				

※「宗教学Ⅰ」の授業は火曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の学生手帳を参照）で行う。

2. 外国語科目の履修方法

外国語科目は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語の6カ国語が開講されている。これらのうち英語と入学手続の際に指定した外国語の2カ国語を履修することになり、その2カ国語を1・2年次および3年次（56年度以降入学生）において必要な科目数・単位数を必ず履修しなければならない。

履修年次	第1外国語		第2外国語	
	科目数	単位数	科目数	単位数
1年次	2(2)科目	4(4)	2(2)科目	4(4)
2年次	2(2)科目	4(4)	2(1)科目	4(2)
3年次	1科目	2	—	—
計	5(4)科目	10(8)	4(3)科目	8(6)

※()内の数字は55年度以前入学生適用。

1年次の履修

6カ国語のうち英語1G・1Rの2科目と入学手続の際に指定した外国語1G・1Rの2科目の計4科目8単位を必修とする。

授業科目	単位	科目内容	履修科目数	備考
英語 1G	2		1G・1R2科目を必修とする。ただし1Gは英会話または英語LLに代替できる。	LL(ランゲージ・ラボラトリー)
英語 1R	2			
英会話	2			
英語 LL	2	視聴覚教材を使用した語学教育		
ドイツ語 1G	2	文法	5カ国語のうちから入学手続の際指定した1カ国語1G・1Rの2科目を必修すること。	
ドイツ語 1R	2	講読		
フランス語 1G	2	文法		
フランス語 1R	2	講読		
中国語 1G	2	文法		
中国語 1R	2	講読		
スペイン語 1G	2	文法		
スペイン語 1R	2	講読		
ロシア語 1G	2	文法		
ロシア語 1R	2	講読		

※英語科目内容

英語1G：意志表現と意志伝達の基礎を把握する。

英語1R：講読を通し内容と文構造の基本を把握する。

※「英語1R」の授業は火曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の学生手帳を参照）で行う。

A. 56年度以降入学生適用

2年次の履修

1年次で履修の2カ国語（英語と他の1カ国語）を、それぞれ2AⅠ・2AⅡの2科目ずつ計4科目8単位を必修とする。

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 2 A I	2	} 2科目必修	ド イ ツ 語 2 A I	2	} 1年次で履修した1カ国語2科目必修
英 語 2 A II	2		ド イ ツ 語 2 A II	2	
		フ ラ ン ス 語 2 A I	2		
		フ ラ ン ス 語 2 A II	2		
		中 国 語 2 A I	2		
		中 国 語 2 A II	2		
		ス ペ イ ン 語 2 A I	2		
		ス ペ イ ン 語 2 A II	2		
		ロ シ ア 語 2 A I	2		
		ロ シ ア 語 2 A II	2		

※英語科目内容

英語2AⅠ：講読を通し、はば広い教養を修得する。

英語2AⅡ：意志表現と意志伝達の能力を発展させ、応用力を修得する。

3年次の履修

1・2年次で履修の2カ国語のうち、いずれか1カ国語を第1外国語とし3Aを1科目2単位必修とする。

第1外国語

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 3 A	2		中 国 語 3 A	2	
ド イ ツ 語 3 A	2		ス ペ イ ン 語 3 A	2	
フ ラ ン ス 語 3 A	2		ロ シ ア 語 3 A	2	

※英語科目内容

英語3A：1年次、2年次の英語力を基礎とし現代英語を通して国際的視野を養う。

B. 55年度以前入学生適用

2年次の履修

1年次で履修の2カ国語のうち、いずれかを第1外国語とし2AⅠ・2AⅡの2科目4単位、他方を第2外国語として2Bを1科目2単位、計3科目6単位を必修とする。

第1外国語（指定した外国語2AⅠ・2AⅡの2科目4単位必修）

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 2 A Ⅰ	2		中 国 語 2 A Ⅰ	2	
英 語 2 A Ⅱ	2		中 国 語 2 A Ⅱ	2	
ド イ ツ 語 2 A Ⅰ	2		ス ペ イ ン 語 2 A Ⅰ	2	
ド イ ツ 語 2 A Ⅱ	2		ス ペ イ ン 語 2 A Ⅱ	2	
フ ラ ン ス 語 2 A Ⅰ	2		ロ シ ア 語 2 A Ⅰ	2	
フ ラ ン ス 語 2 A Ⅱ	2		ロ シ ア 語 2 A Ⅱ	2	

第2外国語（指定した外国語2Bを1科目2単位必修）

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 2 B	2		中 国 語 2 B	2	
ド イ ツ 語 2 B	2		ス ペ イ ン 語 2 B	2	
フ ラ ン ス 語 2 B	2		ロ シ ア 語 2 B	2	

外国語科目履修上の注意

- イ. 外国語科目の組分けは、すべて授業時間表で指定するので、学生は自己の学科・学生番号(下4ケタ)により該当するクラスを履修すること。
- ロ. 1・2年次履修の外国語（英語と他の1カ国語）のうち、3年次に履修する第1外国語を学生自身が指定し、2年次の9月中旬に登録すること。（56年度以降入学生）
- ハ. なお一層の語学教育を望む学生は、外国語随意科目を開講しているので進んで履修されたい。
- ニ. 不合格科目の再履修については、別に定める。
- ホ. 3年次までに所定の単位を修得していなければならない。（ただし、55年度以前入学生は2年次まで）

3. 保健体育科目の履修方法

カリキュラム改訂に伴い、昭和60年度入学生より新カリキュラムを適用する。なお、昭和59年度以前入学生は、旧カリキュラムが適用される。

A. 60年度入学生適用

講義と実技に分かれる。講義は1年次に1科目2単位、実技は1年次1科目1単位〈体育実技Ⅰ〉、2年次1科目1単位〈体育実技Ⅱ〉の3科目4単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	1年次前期または後期
実 技	体育実技Ⅰ	1	1年次通年
	体育実技Ⅱ	1	2年次前期または後期

- イ. 講義の前期・後期の別は授業時間表で指定する。
- ロ. 講義・体育実技Ⅰが1年次不合格となった者は2年次において「再履修クラス」を履修し単位を修得

する。

ハ. 体育実技Ⅱが2年次不合格となった者は3年次において体育実技Ⅱを再び履修し、単位を修得する。

ニ. 講義・体育実技Ⅰは火曜日に玉川校舎で授業を行う。

ホ. 体育実技Ⅱは次の授業形態のいずれかを履修し、単位を修得しなければならない。

A. 本校での前期または後期の体育実技Ⅱの授業

B. 前期（夏季休暇中）または後期（冬季休暇中）に実施される有料のシーズン・コースの授業

C. 前期（夏季休暇中）または後期（冬季休暇中）に実施される玉川校舎での集中授業

ヘ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

B. 59年度以前入学生適用

講義と実技に分かれ、1年次に2科目4単位を必修とする。

	授業科目	単位	備考
講義	保健体育理論	2	前期または後期
実技	体育実技	2	通年

イ. 講義の前期・後期の別は授業時間表で指定する。

ロ. 講義・実技とも1年次で不合格となった者は「再履修クラス」を履修し単位を修得する。

ハ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

ニ. 講義・実技とも火曜日に玉川校舎で授業を行う。

体育実技履修上の注意

1. 体育実技Ⅰの授業について（59年度以前入学生は体育実技）

前期・後期とも、それぞれ履修時間表（下記）に含まれている数種目の中から選択し受講する。ただし、前期と後期は同一種目を選択することはできない。

(a) 種目選択届

最初の授業時間において、前期・後期種目選択のためのオリエンテーションを実施し、決定するので必ず出席すること。

(b) 単位履修届

教務部に提出する「単位履修届」の科目名、担任名は授業時間表による科目名、担任名を記入すること。種目選択した種目名や担当者名ではない。

体育実技Ⅰ時間表（1年次、玉川校舎で実施する）

	火・1（商）		火・2（経）			火・3（経）		
	担任名 高橋		担任名 村松			担任名 宮沢		
種目担当者名	トレーニング 室内球技 テニス 卓球 卓空	高森 関本 野前 松田 村幸 秋高 橋	トレーニング 室内球技 テニス 卓球	高森 関本 野前 村幸	高森 野前 松田 秋幸	トレーニング 室内球技 テニス 卓球 卓柔	高森 関本 田幸 宮光	森本 中前 沢永

※ 経済学科の体育実技Ⅰの組分けについては「授業時間表」参照のこと。（59年度以前入学生は体育実技）

再履修クラス時間表（2年次生以上の再履修者のクラスで授業は本校で実施する）

	火・3			水・1			水・2	
	担任名 大石			担任名 三幣			担任名 上山	
種 目	室内球技 太極拳	竹田 大石		室内球技 剣道	三幣 上山		室内球技 剣道	森本 上山

(c) 単位の認定について

1年間の授業を通して、1単位（59年度以前入学生は2単位）を認定する。

前期と後期は種目選択の上で便宜上分けられるもので、あくまでも1年間の授業によって単位の認定が行われる。

(d) 評価について

週1回の授業を真剣に受講することが実技の重要な意味であることから、本学においては評価の上で出席を最も優先させている。この基盤の上に立って前期・後期それぞれの種目において行われる実技試験等の点数、および平常の授業における態度が加味されて実技の評価が行われる。

(e) 見学について

身体の具合が悪い場合は、担任教員にその旨を報告し、授業を真面目に見学すること。

※長期見学者：前期または後期をほとんどあるいは全部見学せざるを得ない精神および身体上の故障や病気を持っている場合は長期見学者として取り扱い毎時間の真面目な見学をもって出席に代える。また、実技テストは行わずレポートをもってこれに代える。レポートの課題については担任教員より指示を受けること。

(f) 服装・更衣について

種目毎に、それぞれの担任教員の指示に従い、指定された場所以外では着替えないこと。

(g) 盗難・事故・負傷について

①盗 難：実技の受講日には貴重品は持参しないこと。やむを得ず持参した場合には担任教員に指示を受けること。最近、特に実技の時間を狙った常習者が横行しているので十分注意してほしい。

②事故・負傷：実技の時間に事故や負傷が発生した場合には直ちに担任教員に報告し適切な指示を受けること。

(h) 掲示について

実技上の連絡は、玉川校舎事務室前の掲示板および玉川校舎入口の黒板に掲示するので、平常よく見ておくこと。

2. 体育実技Ⅱの授業について（60年度入学生適用）

2年次の前期または後期に、次のA・B・Cの体育実技Ⅱの授業の中から、1つを選んで履修し単位を修得する。

A. 本校での授業

授業は学部学科の指定はなく全学部オープンである。昭和61年度履修要項に記載する体育実技Ⅱの授業時間表の中から、どの時間、どの種目でも選択し履修することができる。ただし、履修できるのは1時間、1種目だけに限る。また各時間、および種目は定員になり次第締切。なお、定員に達しない種目のうち極端に人数が少ない種目の場合、他の種目に移行して受講しなければならない場合もあり得る。単位は、前期または後期授業により1単位を認定する。

時間、種目の決定と履修届提出の方法と順序について

① 教務部に履修届を提出する以前に「体育実技Ⅱ種目選択届」を行う。開講時限および種目は、昭和61年度履修要項に記載する。

② 「体育実技Ⅱ種目選択届」の方法

○期 間：在校生成績発表日より5日間とする。この期間に種目選択を行わない場合は、原則として体育実技Ⅱを履修することはできない。

○場 所 } 未定 実施前に掲示板にて指示、および昭和61年度履修要項に記載する。
○時 間 }

○持参する物：種目選択届用紙（成績発表時に配布する）、学生証、教務部提出用履修届用紙、昭和61年度授業時間表

○種目選択届が受理されると、教務部提出用履修届に種目選択済の確認印が押される。

③ 教務部への履修届提出

○種目選択済の確認印のない履修届は受け付けない。

B. シーズン・コース

シーズン・コース授業は、原則として本校での授業の体育実技Ⅱ（前記A）の選択が困難と認められた場合に履修することができる。単位は、本校での前期または後期の授業と同様1単位を認定する。実施期間は、前期が夏季休暇中、後期が冬季休暇中とする。

○開講予定種目

前 期 テニスA

テニスB

後 期 スキーA

スキーB

※AとBは、実施場所または時期が異なる。

○具体的日程については、昭和61年度履修要項に記載する。

○申込み方法：「本校での授業」（前記A）と同様とする。なお履修届はあらかじめシーズン・コース用に設定された土曜日、5時限（前期または後期）で提出する。

C. 集中授業コース

集中授業コースは、シーズン・コースと同様原則として本校での授業の体育実技Ⅱ（前記A）の選択が困難と認められた場合に履修することができる。単位は本校での前期または後期の授業と同様1単位を認定する。

実施期間は、前期が夏季休暇中、後期が冬季休暇中とする。

○開講予定種目

前期・後期とも、ソフトボール、バドミントン、卓球、太極拳、ジャズダンスなど。

○具体的日程については、昭和61年度履修要項に記載する。

○申込み方法：「本校での授業」（前記A）と同様とする。なお、履修届はあらかじめ集中授業コース用に設定された土曜日、5時限（前期または後期）で提出する。

4. 基礎教育科目の履修方法

専門教育科目の基礎となる授業科目で1年次に科目単位を必修とする。

履修年次	授業科目	単位	備考
1年次	経済学概説	4	

5. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は必修科目と選択科目とに分かれ、それぞれ定められた単位を修得することになっている。履修する授業科目の選択については単門科目全般にわたって十分検討して履修すること。なお一度単位を修得した授業科目については再度履修することはできない。

イ. 1・2年次開講科目は、ほとんど基礎的科目である。

ロ. 所属学科の開講科目を履修することを原則とするが、特に希望する場合、同学部内の専門教育科目に限り他学科の開講科目でも履修して試験に合格すれば単位は認められる。（科目コース番号が335…ではじまる科目。）

ただし、必修科目に関しては他学科の科目は履修できない。

経済学科

必修科目

A. 58年度以降入学生 4科目16単位

2 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考
経 済 原 論 I	4	
経 済 原 論 II	4	
経 済 史	4	
経 済 政 策	4	

B. 56年度・57年度入学生 3科目12単位

2 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考
経 済 原 論 I	4	旧：経済原論
経 済 史	4	
経 済 政 策	4	

C. 55年度以前入学生 4科目16単位

2 年 次 必 修			3 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
経 済 原 論 I	4	旧：経済原論	外 書 講 読 I	4	
経 済 史	4				
経 済 政 策	4				

選択科目の卒業所要単位数

58年度以降入学生 68単位以上

57年度以前入学生 72単位以上

商 学 科

必修科目

A. 57年度以降入学生 3科目12単位

1 年 次 必 修			2 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
会 計 学 総 論	4		商 学 総 論	4	
			経 営 学 総 論	4	

B. 56年度入学生 1科目4単位

1 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考
簿 記 学	4	

C. 55年度以前入学生 2科目8単位

1 年 次 必 修			3 年 次 必 修		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
簿 記 学	4		外 書 講 読 I	4	

選択科目の卒業所要単位数

57年度以降入学生 72単位以上

56年度以前入学生 80単位以上

選択科目一覧（経済・商学科共通）

1 年 次 選 択			3・4 年 次 選 択			3・4 年 次 選 択		
授業科目	単 位	備 考	授業科目	単 位	備 考	授業科目	単 位	備 考
会計学総論	4	※イ	価格理論	4		ヨーロッパ経済論	4	
2 年 次 選 択			国民所得論	4		ソヴェート経済論	4	
経済原論Ⅰ	4	※ロ	景気変動論	4		商業政策	4	
経済原論Ⅱ	4	※ハ	日本経済史	4		マーケティング	4	
統計原論	4		経済地理	4		貿易論	4	
経済史	4	※ニ	国際経済論	4		証券市場論	4	
経済政策	4	※ニ	農業政策	4		保険論	4	
商学総論	4	※ホ	工業政策	4		交通論	4	
商業史	4		財政学	4		商品学	4	
経営学総論	4	※ヘ	財政政策	4	※ト	経営管理論	4	
簿記論	4		金融論	4		労務管理	4	
財務会計論	4		国際金融論	4		原価計算論	4	
憲 法	4		銀行論	4		会計監査論	4	
民法一部	4	総則 物 権	社会政策	4		管理会計論	4	
演 習 Ⅰ	4		労働経済論	4		税務会計論	4	
3 年 次 選 択			中小企業論	4		民法二部	4	債 権
演 習 Ⅱ	4		人口論	4		商法一部	4	総則 会社法
4 年 次 選 択			教育経済論	4		商法二部	4	商行為・ 手形・小 切手法
演 習 Ⅲ	4		日本経済論	4				
3・4 年 次 選 択			アジア経済論	4		労働法	4	
経済学史Ⅰ	4		中国経済論	4		経済法	4	
経済学史Ⅱ	4		アメリカ経済論	4		原書講読	4	

※イ「会計学総論」 経済学科の学生に限り適用。簿記学を修得した学生は、履修できない。

※ロ「経済原論Ⅰ」 旧：経済原論。商学科の学生に限り適用。

※ハ「経済原論Ⅱ」 商学科の学生で58年度以降入学生に限り適用。

※ニ「経済史」, 「経済政策」 商学科の学生に限り適用。

※ホ「商学総論」 商学科の学生で57年度以降入学生は必修科目として履修すること。

※ヘ「経営学総論」 旧：経営経済学。商学科の学生で57年度以降入学生は必修科目として履修すること。

※ト「財政政策」 旧：財政政策論。財政政策論を修得した学生は履修できない。

6. 随意科目の履修方法

随意科目は各学科とも2・3・4年次で履修することができるが、卒業に必要な単位に含めることができない。

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
比 較 思 想 特 講	4		日 本 語 F	2	(初級・中級)
ド イ ツ 語 F	2		ド イ ツ 語 FLL	2	(初級・中級)
フ ラ ン ス 語 F	2		フ ラ ン ス 語 FLL	2	(初級・中級)
中 国 語 F	2		中 国 語 FLL	2	(初級・中級)
ス ペ イ ン 語 F	2		ス ペ イ ン 語 FLL	2	(初級・中級)
ロ シ ア 語 F	2		ロ シ ア 語 FLL	2	(初級・中級)

※日本語Fは外国人留学生のみを対象とする科目で1年次生より履修できる。

7. 再履修科目の履修方法

イ. 再履修とは、前年度履修登録し単位を修得できなかった授業科目（受験しなかった科目を含む）を翌年度に再度履修することをいう。この場合授業科目名が同じであれば担任教員に変更があっても同一科目の再履修となる。

ロ. 翌年度に再履修しないで翌々年度以降に履修する場合は新履修とみなす。（休学の場合も同様）

ハ. 再履修の授業科目は、新履修の授業科目と同時に届出なければならない。

ニ. 外国語・体育実技Ⅰ（59年度以前入学生は体育実技）・保健体育理論および宗教学Ⅰを再履修する場合は、それぞれの「再履修クラス」（本校で授業を行う）で履修すること。ただし、原級者で同級学年の科目を再履修する場合は正規クラスで履修すること。

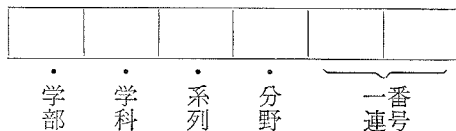
ホ. 1年次生は再履修クラスを履修することはできない。

※コード番号について

1. 授業科目コードの設定方法

科目コードは6桁の数字とし、その各位の数字に次の意味を持たせている。

(a) 科目コードの区分



(b) 学部，学科番号は学生番号欄での説明のとおりである。

(c) 系列，分野区分について

授業科目の区分	系列番号	分 野 番 号
一 般 教 育 科 目	0	
人 文 分 野		1 (必修). 2 (選択)
社 会 分 野		3
自 然 分 野		4
基 礎 教 育 科 目	1	3
外 国 語 科 目	2	
第 1 外 国 語		
第 2 外 国 語		
保 健 体 育 科 目	4	
実 技		1
講 義		2
専 門 教 育 科 目	5	
必 修 科 目		1. 2. 3
選 択 科 目		5. 6. 7. 8
随 意 科 目	7	
再 履 修 科 目	8	
課 程・講 座 科 目	9	
必 修 科 目		1
選 択 科 目		2
教 科 科 目		3. 4. 5. 6. 7. 8

Ⅳ 履修科目の登録（履修届）とその作成順序

1. 履修科目の登録

毎学年次所属する学科、学年に開講されている授業科目の中から履修を希望する科目を授業時間表より選び、所定の「単位履修届」用紙に必要事項を記入し届出ることにより、通年（または半期）授業を受けることができる。

I) 各年次における最低および最高履修科目数（制限科目数）は原則として次のとおりとする。

年次	新履修科目数	再履修を含む科目数
1年次	15科目	_____
2年次	5科目以上12科目以内	53年度以前入学生は制限外、それ以外は制限内
3年次	5科目以上12科目以内	53年度以前入学生は制限外、それ以外は制限内
4年次	5科目以上14科目以内	5科目以上14科目以内

イ. 体育実技Ⅱ，課程・講座科目，随意科目は上記表の制限外とする。

ロ. 制限範囲内で順次履修すれば，4年次においての新履修科目は専門3科目だけとなり，課程・講座科目の履修や未・再履修科目の補充も制限科目数の範囲内で十分可能となる。

ハ. 半期科目も1科目とする。

II) 登録上の注意

イ. 履修届は指定された日時に必ず本人が記入捺印し，学生証提示の上提出すること。（提出しない場合は学業の意志のないものとして処理する。なお指定日時に提出できないものは教務部窓口にご相談すること）

ロ. 履修届の日時，場所等についての詳細は原則として新年度成績発表前に教務部掲示板に発表する。

ハ. 所属する学科以外の授業科目は原則として登録できない。ただし，同学部内で他学科の専門教育科目を特に希望する場合，または課程・講座等資格取得のため必要な科目は課程・講座科目として，登録できるが，その場合は教職係窓口で受講承認印を受けてから提出すること。

ニ. 履修登録をしない授業科目はたとえ聴講，受験しても単位は与えない。

ホ. 授業科目の追加登録は一切認めない。

ヘ. 「単位履修届」用紙の注意事項をよく読んで間違いのないように登録すること。

2. 履修届記入上の注意

授業時間表(例)

月 曜 日				
	科目名	科目コード	担任	担任コード
一時限	ドイツ語1G	312201	百 済	879
	~~~~~			
二時限	保健体育理論(前)	314201	長 浜	993
	保健体育理論(後)	314201		622
~~~~~				
三時限	宗 教 学 I	310101	平井(俊)	735
	~~~~~			
四時限	論 理 学	310203	国 嶋	306
	~~~~~			
五時限	自然科学概論	310401	宇和川	104
	~~~~~			

正しい記入例

曜日	時限	再履	科目名	科目コード	担任	担任コード
月 (1)	1		ドイツ語1G	312201	百 済	879
	2		保健体育理論(前)	314201	長 浜	993
	3		宗 教 学 I	310101	平井(俊)	735
	4	○	論 理 学	310203	国 嶋	306
	5		自然科学概論	310401	宇和川	104

1. 楷書体で正確に記入すること。
2. 記入の際は、必ず黒または青インクを使用し、捺印の上提出すること。
3. 授業時間表のとおり記入すること。
4. 半期終了の科目は欄の中央に点線を入れ、上に前期終了科目・下に後期終了科目を記入すること。
5. 再履修科目がある場合、再履欄に○印をつけること。
6. 履修届はコンピューターで処理しているため、下記の場合、登録が無効となるので注意すること。
  - イ. 科目名・科目コード、担任名・担任コードが一致しない場合
  - ロ. 時限を誤って記入した場合
  - ハ. 間違い易い数字で記入した場合(例、0と6・1と7)
  - ニ. その他、不明瞭に記入した場合
7. 体育実技の記入方法は、時間表に載っている科目コード・担任コードを正しく記入すること。
8. 自己の責任において、必ず指定された日・時・場所に提出すること。
9. 履修届の本人控を正確に記入し、紛失しないように保管すること。

### 3. 履修届（時間割）の作成順序

履修要項・授業時間表により、各自がそれぞれの学年次の履修科目を決定する訳であるが、その場合必修科目、選択必修科目、選択科目の順序で決定すること。また一般教育科目・外国語科目・保健体育科目および基礎教育科目は1・2年次で所定の単位を修得し、上級学年に進むに従い専門教育科目、課程・講座科目等を多く履修することが望ましい。

1年次生の場合、次表の順序で履修する科目を決定すると容易である。

#### （経済学科）

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学 I （必修）	1
2	外国語科目	第1外国語, 第2外国語 （選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期）, 体育実技 I （必修）	2
4	基礎教育科目	経済学概説 （必修）	1
5	一般教育科目	人文分野 } 開講科目中6または7科目を選択 社会分野 } 必修(不足の場合は2年次で履修) 自然分野 }	7
	専門教育科目		
1年次履修制限科目数			15

#### （商学科）

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学 I （必修）	1
2	外国語科目	第1外国語, 第2外国語 （選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期）, 体育実技 I （必修）	2
4	基礎教育科目	経済学概説 （必修）	1
5	専門教育科目	会計学総論 （必修）	1
6	一般教育科目	人文分野 } 開講科目中6科目を選択必修 社会分野 } (不足単位は2年次で履修) 自然分野 }	6
1年次履修制限科目数			15

## V 試験および成績評価

### 1. 定期試験

- イ. 前期で終了する授業科目の定期試験は7月に、後期および通年の授業科目の定期試験は1月から2月にかけて実施される。
- ロ. 試験を受験できる科目は、正規の手続きを経て履修登録した授業科目であること。
- ハ. 筆記試験のかわりにレポートの提出を課せられた場合は、主題、枚数、提出日時、提出先等をよく確認の上提出すること。なお、指定された日時に遅れた場合は一切受理しない。
- ニ. 試験時間割は、原則として平常の講義の時限とし、時間および教場等については掲示で発表する。  
(注) 試験場は平常の授業教場と異なる。特に集中試験(同一科目を一括して行う試験)は平常時間割と曜日、時限とも変わるので試験時間および教場割等については掲示に十分注意すること。

### 2. 中間試験

授業科目によって担任者が中間考査として任意に行う試験(レポート提出を含む)のことをいう。従って試験は平常の授業に準じて行う。

### 3. 追・再試験

#### I 追試験

- イ. 追試験は、やむを得ない事由があり定期試験(レポート提出を含む)を欠試した場合受験することができる。その場合、欠試者は所定の欠試届にその事由を記し、自分の全ての試験終了後ただちに届け出ること。(締切日は掲示板参照)
- ロ. 追試験料は徴収しない。

#### II 再試験

- 1, 2, 3年次については、再試験は、一切実施しない。  
卒業年次生に限り下記により実施する。
- イ. 卒業年次に履修登録した科目の定期試験を受験し、不合格となった科目は願い出により受験することができる。
- ロ. 受験料は1科目500円とする。

#### III 体育・外国語科目・その他

- イ. 体育実技、演習は追、再試験ともこれを行わない。
- ロ. 外国語科目についても追、再試験を行わない。ただし、定期試験を欠試した者は当該科目試験終了後一週間以内に担任教員に申し出て指導を受ける。

#### 4. 受 験 心 得

- イ. 当該受験科目を履修登録していること。
- ロ. 指定された日, 時, 試験場(教場)で受験すること。
- ハ. 学生証を携帯していない学生は受験できない。
- ニ. 学生証は試験中, 机の上に提示しておくこと。
- ホ. 試験開始後30分を超えて遅刻した学生は受験できない。
- ヘ. 試験開始後30分を経過し, 受験者名簿に氏名を記入するまで退場できない。
- ト. 学部, 学科, 学生番号, 氏名の記入はペン又はボールペン書きとする。
- チ. 無記名の答案は無効となるので注意すること。
- リ. 配布された答案用紙は必ず提出し, 試験場外へ持ち出してはならない。
- ヌ. 試験場(教場)においては, すべて試験監督員の指示に従うこと。
- ル. 試験場(教場)の秩序を乱したり, 試験実施の妨げとなる行為をした場合は退場を命ずる。
- ヲ. 試験において下記のような不正受験行為があった場合は, 「不正受験行為者処分規程」により処分されるので注意すること。
  - (1) 代人として受験したり, 又は代人受験を依頼すること。
  - (2) 使用が許可されていないノート, テキスト, 参考書, 六法, 辞書等を使用すること。
  - (3) 所持品その他への事前の書き込みや机, 壁等の書き込みを利用すること。
  - (4) 他人の答案をのぞき見て書き写したり, 書き写しさせること。
  - (5) 私語及び動作, メモその他の方法で連絡をしたり, 連絡を受けること。
  - (6) 試験中にノート, テキスト, 参考書, 六法, 辞書等を貸借すること。
  - (7) 答案用紙をすり替えたり, すり替えさせること。
  - (8) その他上記に類似する行為をすること。

#### 5. 成績評価・単位認定

- イ. 定期試験の成績は, 優(100点~80点), 良(79点~70点), 可(69点~60点)および不可(59点~0点)とし, 優, 良, 可を合格, 不可は不合格とする。
- ロ. 所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席し, 合格の成績評価を得た授業科目については所定の単位を認定する。
- ハ. 追試験の成績評価は定期試験に準ずる。
- ニ. 再試験(4年次生のみ)の成績評価は良(70点)以下とする。

試験実施規程(抜萃)が(P.31)掲載されているので参照のこと。

## Ⅵ 進級について

上級学年に進級するためには、進級規程に定める各学年所定の単位を修得していなければならない。修得した単位数により進級及び注意進級とし、基準単位数に達しない場合は原級留置とする。

○注意進級とは、進級の基準単位数には達していないが教育指導のうえ進級を認めるものである。これによる進級者は、修得単位数が少ないために次年度に原級留置となったり、卒業が困難となる場合もあるので、十分反省して勉学に努める必要がある。

○修得単位数が注意進級の基準単位数に達しない場合は、原級とし、同一学年に留め置くものとする。  
修得単位基準表（単位は卒業所要単位のうちとする）

	1年次から2年次	2年次から3年次	3年次から4年次
進 級	30単位以上	60単位以上	90単位以上修得し、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目を全て修得していること。
注 意 進 級	29～20単位	59～50単位	90単位以上修得しているが、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目が1～16単位不足している場合。
原 級 留 置	19単位以下	49単位以下	89単位以下。又は90単位以上修得しているが、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目が17単位以上不足している場合。

進級規程及び進級基準が（P.33）掲載されているので参照のこと。

## Ⅶ クラス制およびクラス主任

1年次では学科毎にクラス制をとり、それぞれクラス主任（教員）において学生の学習指導、生活相談等にあたる制度がある。ただし、60年度は実施しない。

## Ⅷ 教職課程・資格講座

経済学部で開講されている資格取得の課程・講座は、教職課程、学校図書館司書教諭講座、社会福祉主事講座および社会教育主事講座である。（ただし、社会福祉主事講座は59年度以降の入学生より適用。）

教職課程は、教員資格取得のためのもので、本学において教職課程の所定単位を修得したものは、中学校1級・高等学校2級の各普通免許状が取得できる。

学校図書館司書教諭、社会福祉主事および社会教育主事の各講座は、学校教育を充実することを目的とする学校図書館、社会福祉を増進させるための機関等、および青少年に対して行われる組織的な教育活動である教育施設の各専門職員となる有資格者を養成するために設けられている。

教職課程・資格講座の履修希望者は、1年次の秋（11月中旬）に実施するガイダンスに出席し、教職課程・資格講座の「履修要項」および「課程・講座受講登録カード」を受け取ること。（授業科目の講義内容は当該履修要項の講義内容を参照すること）

なお、ガイダンスの日時等については、実施1カ月前より掲示板で、その旨指示する。

○開講されている課程・講座

課程・講座名		備考
教 職 課 程	2年次より	
学校図書館司書教諭講座	//	
社会福祉主事講座	//	59年度入学生より適用
社会教育主事講座	//	

## IX 事務取扱いについて

### 1. 成績発表・成績証明書について

- イ. 前期終了科目・後期および通年授業科目の定期試験の結果は書類で発表する。
- ロ. 成績の質疑については成績発表後5日以内に教務部⑨番窓口にて相談すること。ただし評価の質疑については直接担任教員に申し出て相談すること。
- ハ. 成績発表を受けるときは必ず学生証を持参すること。
- ニ. 成績証明書は、卒業年度生以外は原則として発行しない。

### 2. 授業時間について

授業時間は、次表のとおりである。

時 限	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
時 間	9:00~10:30	10:40~12:10	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40

### 3. 事務室の事務受付時間について

- イ. 事務室の事務受付時間は、9時より16時30分（土曜日は12時）までとする。ただし、昼食休憩時間は12時から13時とし、この時間は事務受付を休止する。
- ロ. 履修届提出、成績発表、各申込等の受付は9時30分より16時までとする。

### 4. 休講について

- イ. 休講は担任教員より連絡あり次第、休講掲示板（教務部事務室前ロビー）に掲示する。したがって、教場の黒板に書いて休講の連絡はしない。始業時間より30分以上経過しても連絡のない場合は、教務部⑦番窓口申し出てその指示を受けること。
- ロ. 運輸機関のストライキによる休講措置については、午前7時現在、国電（山手、中央、京浜東北）もしくは東急がストを行っている場合の授業は全面休講とする。

### 5. 掲示について

学生に対する公示・告示および学習上周知を要する事項は、すべて掲示板に発表するので、登校・下校の際は、必ず掲示板を見ること。また、学生個人に対する伝達事項も、掲示または、郵便・電話で連絡するので遅滞なくその指示に従うこと。

### 6. 問い合わせ

事務室への電話による質問（行事予定、休講、授業、学籍、試験、成績、その他）は、間違いを生じやすく事務に支障も生ずるので一切応じない。必要あるときは、必ず登校のうえ、掲示を見るか、関係事務窓口で問い合わせること。

## X 届書・願書について

(教務部扱いのもの)

種 類		要 領	必要書類	本人印	保証人印	取扱窓口
届 書	単 位 履 修 届	年度初頭の指定する期日に、各年度に履修しようとする授業科目(単位)を必ず届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	掲示
	欠 試 届	やむを得ない事情で欠試した時は届出用紙に理由を書き、本人履修全科目の試験終了後ただちに届け出ること。(締切日は掲示参照)	所定用紙あり	不要	不要	⑨
	改 氏 名 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり 戸籍抄本1通添付	要	不要	⑤
	本 籍 地 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり 戸籍抄本1通添付	要	不要	⑤
	保 証 人 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり 在学誓書(保証書)添付	要	要	⑤
	保 証 人 住 所 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	⑤
	死 亡 届		所定用紙あり 死亡診断書添付		要	⑤
願 書	休 学 願	病気その他の理由で引き続き2か月以上修学するのことができない場合は、保証人連署の上願い出て休学の許可を得なければならない。	所定用紙あり 傷害・疾病による場合は医師の診断書添付	要	要	⑤
	復 学 願	休学した者が復学する場合は、毎学年の始め、保証人連署の上願い出て許可を得なければならない。「復学願」の提出は4月7日までとする。	所定用紙あり 傷害・疾病による休学をした場合は医師の通学可能である証明書添付	要	要	⑤
	退 学 願	傷病その他やむを得ない理由で退学する場合はその理由を付し、保証人連署をもって願い出て許可を得なければならない。	所定用紙あり 学生証添付	要	要	⑤
	転 部 ・ 転 科 願	事前に教務部に相談すること。	所定用紙あり	要	要	⑦

## XI 各種証明書取扱い窓口

証 明 書 名	取 扱 窓 口	料 金
成 績 証 明 書	教務部④番	一 通 100円 (英文証明書) 一通 300円)
卒 業 (見 込) 証 明 書		
学 士 証 明 書		
教 員 免 許 状 取 得 見 込 証 明 書		
単 位 修 得 証 明 書 (教職, 司書教諭, 学芸員, 社会教育, 社会福祉)		
一 般 教 養 科 目 修 了 (見 込) 証 明 書		
在 籍 証 明 書 (中途退学者に限る)	教務部⑤番	
人 物 考 査 書	就 職 部	
健 康 診 断 証 明 書	学 生 部 ③ 番	
在 学 証 明 書	学 生 部 ② 番	
学 割		無 料
通 学 証 明 書		無 料

※経理部前備付けの申込用紙に必要事項を記入し、手数料分の証紙を貼付（郵送料は現金で経理部窓口に納入）の上、取扱い窓口に申し込むこと。発行は原則として3日後。

教務部取扱い証明書は、6月下旬から10月中旬までと3月は大変混雑するので、掲示に注意し、十分余裕をもって申し込むこと。

## 試験実施規程（抜萃）

昭和59年7月13日制定

### （目的）

第1条 この規程は、駒沢大学（以下「学部」という。）、駒沢短期大学（以下「短大」という。）、駒沢大学大学院（以下「大学院」という。）の各学則に規定する試験の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

### （試験の実施）

第2条 試験は、当該教授会の責任のもとに実施される。

### （試験の種類及び実施の時期）

第3条 試験の種類は、次のとおりとする。

- (1) 定期試験 履修した授業科目修了の認定をするために前期あるいは後期の所定期間内に行われる試験をいう。
  - (2) 追加試験（以下「追試験」という。） 病気その他やむを得ない理由で定期試験を受けることができなかった者について行う試験をいう。
  - (3) 再試験 第1号の試験を受験し不合格となった者について臨時に行う試験をいう。
  - (4) 中間試験 第1号、第2号、第3号の試験とは別に平常の授業時間帯に授業科目担任者が中間考査として行う試験をいう。
- 2 試験の実施時期については、行事予定表をもつてこれを定める。ただし、中間試験については、この限りではない。
- 3 第1項第2号及び第3号に規定する追試験及び再試験は、次の各号の一に該当するときはこれを実施しない。
- (1) 学部1, 2, 3年次生の再試験
  - (2) 学部外国語科目、体育実技、演習、その他実験実習をとまなう授業科目の追試験及び再試験
  - (3) 短大体育実技の追試験及び再試験

### （試験の方法）

第4条 試験は、筆記、口述又は実技によって行う。ただし、授業科目担任者の決定により、レポート提出をもってこれに代えることができる。

### （試験時間）

第5条 試験時間は、原則として第1部は60分、第2部は50分とする。ただし、追試験及び再試験については50分とする。

### （受験資格）

第6条 授業科目修了の認定にかかわる定期試験を受験するためには、次の各号の条件を満たしていなければならない。

- (1) 当該授業科目を履修登録していること。
- (2) 授業料その他の学費を納入していること。

- 2 前項の条件を満たしているときであっても、当該授業科目について、出席すべき時間数の3分の1以上欠席している者については、当該授業科目の受験資格が認められないことがある。
- 3 追試験を受験するためには、定期試験終了後速やかに当該授業科目の欠試験及び追試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。
- 4 再試験を受験するためには、所定の受験料を添えて再試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。

(受験資格の喪失)

第7条 次の各号の一に該当するときは、当該授業科目試験の受験資格を失う。

- (1) 学生証を携帯していないとき
- (2) 試験開始後30分を超えて遅刻したとき
- (3) 試験監督員の指示に従わないとき
- (4) 不正受験行為を指摘されたとき

(受験心得)

第8条 試験を受ける者は、別に定める受験心得を遵守しなければならない。

(無効答案)

第9条 次の各号の一に該当する答案は、無効とする。

- (1) 受験資格を有しない者の答案
- (2) 不正受験行為により作成された答案
- (3) 氏名、学生番号が記載されていない答案
- (4) 指定された時間、指定された場所に提出されない答案
- (5) 所定用紙以外の用紙を用いた答案

(成績評価及び単位認定)

第10条 試験の成績は、優(100点~80点)、良(79点~70点)、可(69点~60点)、不可(59点~0点)の4段階に分け、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。ただし、再試験の成績は、良(70点)、可、不可のいずれかとする。

- 2 合格した授業科目については、所定の単位を修得したものと認める。

(不正受験行為者の処分)

第13条 不正受験行為者の処分については、別に定める。

(事務所管)

第14条 試験実施にかかわる事務は、教務部(教務課、第二学事課)の所管とする。

附 則

- 1 この規程は、昭和59年7月13日から施行する。

## 進 級 規 程

(昭和51年4月1日制定)

昭和59年12月18日改正

### (目的)

第1条 この規程は、駒沢大学学則第14条に基づき、学生が上級学年に進級するために必要な修得単位数の基準を定めることを目的とする。

### (進級基準単位数)

第2条 学生が上級学年に進級するときは、卒業所要単位数のうち、次の各号の一に該当する単位数を修得していなければならない。

- (1) 1年から2年に進級するときは、30単位以上修得していること。
- (2) 2年から3年に進級するときは、60単位以上修得していること。
- (3) 3年から4年に進級するときは、仏教学部、文学部、経済学部、経営学部、経済学部第2部、法学部第2部、経営学部第2部においては90単位以上、法学部においては99単位以上を修得していること。ただし、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の所要単位をすべて修得していなければならない。

### (注意進級基準単位数)

第3条 前条の規定にかかわらず、卒業所要単位数のうち、次の各号の一に該当する単位数を修得しているときは、本人に注意を喚起し、上級学年への進級を認めることができる。

- (1) 1年から2年への進級を認めるときは、20単位以上修得していること。
- (2) 2年から3年への進級を認めるときは、50単位以上修得していること。
- (3) 3年から4年への進級を認めるときは、次に掲げる条件の一に該当していること。

ア 仏教学部、文学部、法学部第2部においては、90単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。

イ 経済学部、経営学部、経済学部第2部、経営学部第2部においては、90単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が16単位以下であること。

ウ 法学部においては、99単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。

### (原級)

第4条 修得単位数の合計が、注意進級基準単位数に達しない者は、原級に留め置くものとする。

### 附 則

この規程は、昭和60年4月1日から施行し、昭和60年度入学生から適用する。ただし、昭和59年度以前の入学生については、昭和62年3月31日までは、なお、従前の進級基準によるものとする。

## 進 級 基 準

この基準は、駒沢大学学則第14条に基づき、上級学年に進級する場合の基準を次のように定める。

### (正規進級)

第1条 上級学年に正規進級する場合は、下記の単位数の取得を要する。

1. 1年から2年に進級する場合、卒業所要単位のうち、30単位以上。
2. 2年から3年に進級する場合、卒業所要単位のうち、60単位以上。
3. 3年から4年に進級する場合、卒業所要単位のうち、90単位以上。

ただし、90単位以上の者でも、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目の必要単位数を全て取得していること。

### (注意進級)

第2条 正規の進級基準には、達しないが教育的配慮から進級を認める。ただし注意進級が、再度つづく場合には、取得単位の不足から、4年間で卒業することが困難となるので、今後十分に自戒して所定の単位数を取得するよう努めることが必要である。

1. 1年から2年に注意進級する場合、卒業所要単位のうち29～20単位までとする。
2. 2年から3年に注意進級する場合、卒業所要単位のうち59～50単位までとする。
3. 3年から4年に注意進級する場合、卒業所要単位のうち90単位以上を取得するも、その内一般教育科目・保健体育科目・外国語科目の不合格単位数の合計が1～16単位までとする。

### 付 則

この基準は、昭和51年4月1日より施行する。

## 講義内容目次

一般教育科目(共通).....	(37)
外国語科目(共通).....	(44)
保健体育科目(共通).....	(45)
随意科目(共通).....	(48)
基礎教育科目.....	(50)
専門教育科目.....	(52)
教職および資格講座.....	(67)



一般教育科目

保健体育科目

人文分野

宗教学Ⅰ(袴谷 憲昭)……………39  
 宗教学Ⅰ(池田 魯参)……………39  
 宗教学Ⅰ(末光 愛正)……………39  
 宗教学Ⅰ(田上 太秀)……………39  
 宗教学Ⅰ(片山 一良)……………39  
 宗教学Ⅰ(再クラス)(岡部 和雄)……………39  
 宗教学Ⅰ(再クラス)(奈良 康明)……………40  
 宗教学Ⅱ(永井 政之)……………40  
 宗教学Ⅱ(伊藤 秀憲)……………40  
 宗教学Ⅱ(中野 東禅)……………40  
 宗教学Ⅱ(河村 孝道)……………40  
 宗教学Ⅱ(田中 良昭)……………40  
 哲学(円谷裕二・湯浅正彦)……………40  
 論理学(片桐茂博・久保陽一・高橋久一郎)……………40  
 倫理学(山下 太郎)……………41  
 文学(田沢 英藏)……………41  
 歴史学(木槻 哲夫)……………41  
 歴史学(宮本由紀子)……………41  
 歴史学(野呂 肖生)……………41

社会分野

法学憲法(竹花 光範)……………41  
 法学憲法(茂野 隆晴)……………41  
 法学憲法(馬越 道夫)……………41  
 政治学(飯山 勇)……………42  
 政治学(上條 末夫)……………42  
 社会学(橋爪 敏)……………42  
 社会学(岩上 真珠)……………42  
 統計学(飯塚仁之助)……………42  
 地理学(宮口 侗廸)……………42  
 地理学(玉井 建三)……………42  
 文化人類学(加藤 正春)……………42

自然分野

自然科学概論(宇和川正人)……………43  
 自然科学概論(吉野(漆原)和子)……………43  
 自然科学概論(篠原 正雄)……………43  
 数学(宮寺 功)……………43  
 数学(齊藤 浩三)……………43  
 心理学(梅田 敏文)……………43  
 心理学(重野 純)……………43  
 心理学(鈴木 順一)……………43  
 心理学(園田 健司)……………44

外国語科目

英会話(T. C. Dean Pratt)……………44

体育実技……………45

随意科目

比較思想特講(窪 徳忠)……………48  
 ドイツ語F(栗原 万修)……………48  
 ドイツ語FLL(初級)(松本 洋子)……………48  
 ドイツ語FLL(中級)(小林佳世子)……………48  
 フランス語F(小玉 齊夫)……………48  
 フランス語FLL(初級)(松岡 宏一)……………48  
 フランス語FLL(初級)(マドレーヌ・マルタン)48  
 フランス語FLL(中級)(マドレーヌ・マルタン)49  
 中国語F(刈間 文俊)……………49  
 中国語FLL(初級)(果 荃英)……………49  
 中国語FLL(中級)(羅 漾明)……………49  
 スペイン語F(佐藤玖美子)……………49  
 スペイン語FLL(初級)(ホワン・ナバロ)……………49  
 スペイン語FLL(中級)(ホワン・ナバロ)……………49  
 ロシア語F(前期)(杉山 秀子)……………49  
 (後期)(岡沢 宏)……………49  
 ロシア語FLL(初級)(タチャーナ・パリーソヴナ  
 ・野村)……………49  
 ロシア語FLL(中級)(タチャーナ・パリーソヴナ  
 ・野村)……………49  
 日本語F(初級)(留学生対象)(前期)杉山 秀子50  
 (後期)大塚 純子50  
 日本語F(中級)(留学生対象)大塚 純子……………50

基礎教育科目

経済学概説(大石 雄爾)……………50  
 経済学概説(小谷野(阿部)弘)……………50  
 経済学概説(横山 正彦)……………51

専門教育科目

1年次必修科目(商学科)

会计学総論(加藤 利安)……………52  
 会计学総論(中原 章吉)……………52

1年次選択科目(経済学科)

会计学総論(飯岡 透)……………52  
 会计学総論(長谷川忠一)……………52

2年次必修・選択科目

経済原論Ⅰ(大石 雄爾)……………52  
 経済原論Ⅰ(小谷野(阿部)弘)……………53  
 経済原論Ⅰ(横山 正彦)……………53  
 経済原論Ⅱ(浅田統一郎)……………53

經濟原論Ⅱ (淺野 克己) .....	53	管理會計論 (中原 章吉) .....	61
經濟政策 (石井 啓雄) .....	53	稅務會計論 (長谷川忠一) .....	62
經濟史 (永田 正臣) .....	53	民法二部 (鶴井 俊吉) .....	62
商學總論 (大吹 勝男) .....	54	商法一部 (荒木 正孝) .....	62
經營學總論 (寺中 良二) .....	54	商法二部 (関口 雅夫) .....	62
<b>2年次選択科目</b>		労働法 (深谷 信夫) .....	62
統計原論 (吉野 紀) .....	54	經濟法 (江上 勲) .....	62
商業史 (山田 勝) .....	54	原書講読 (英) (浅田統一郎) .....	63
簿記論 (竹林 代嘉) .....	54	原書講読 (英) (浅野 克己) .....	63
財務會計論 (遠藤 孝) .....	55	原書講読 (英) (飯岡 透) .....	63
憲法 (齊藤 寿) .....	55	原書講読 (英) (大吹 勝男) .....	63
民法一部 (山崎 敏彦) .....	55	原書講読 (英) (齊藤 正) .....	63
<b>3・4年次選択科目</b>		原書講読 (英) (瀬戸岡 紘) .....	63
經濟学史Ⅰ (福原 好喜) .....	55	原書講読 (英) (曾我 信孝) .....	64
經濟学史Ⅱ (有井 行夫) .....	55	原書講読 (英) (百田 義治) .....	64
価格理論 (荒木 勝啓) .....	56	原書講読 (英) (古沢 紘造) .....	64
国民所得論 (吉野 紀) .....	56	原書講読 (英) (三井 逸友) .....	64
景気変動論 (西村 允克) .....	56	原書講読 (英) (光岡 博美) .....	64
日本經濟史 (古庄 正) .....	56	原書講読 (独) (有井 行夫) .....	64
經濟地理 (上坂 修夫) .....	56	原書講読 (独) (福原 好喜) .....	64
國際經濟論 (徳永 俊明) .....	56	原書講読 (仏) (清水 卓) .....	64
農業政策 (浅田 喬二) .....	57	原書講読 (中) (小杉 修二) .....	64
工業政策 (劔持 通夫) .....	57	原書講読 (ス) (徳永 俊明) .....	65
財政学 (西村紀三郎) .....	57	原書講読 (ロ) (山縣 弘志) .....	65
財政政策 (里中 恆志) .....	57		
金融論 (本間 靖夫) .....	57		
國際金融論 (齊藤 寿彦) .....	57		
銀行論 (植田 欣次) .....	58		
社会政策 (光岡 博美) .....	58		
労働經濟論 (山下不二男) .....	58		
中小企業論 (三井 逸友) .....	58		
人口論 (森岡 仁) .....	58		
教育經濟論 (谷敷 正光) .....	59		
日本經濟論 (森 武麿) .....	59		
アジア經濟論 (伊藤 正二) .....	59		
中国經濟論 (小杉 修二) .....	59		
アメリカ經濟論 (瀬戸岡 紘) .....	59		
ヨーロッパ經濟論 (清水 卓) .....	59		
ソヴィエト經濟論 (山縣 弘志) .....	60		
商業政策 (山本 景英) .....	60		
マーケティング (曾我 信孝) .....	60		
貿易論 (古沢 紘造) .....	60		
証券市場論 (柿崎 暎次) .....	60		
保険論 (石名坂邦昭) .....	60		
交通論 (石井彰次郎) .....	60		
商品学 (塚原 博) .....	61		
經營管理論 (百田 義治) .....	61		
勞務管理 (菅野 康雄) .....	61		
原価計算論 (加藤 利安) .....	61		
會計監査論 (飯岡 透) .....	61		

# 一般教育科目

## 人文分野

### 宗教学 I

袴谷 憲昭

一般教養としての「宗教学」に関する知識を教授する（主として前期）と共に、日本文化とも深いつながりを持った「仏教」についてもその歴史的展開を踏まえて講義する（主として後期）。

〔教科書〕『宗教学 I』（更生社）

### 宗教学 I

池田 魯参

普段はほとんど無意識でいるが、ハイテクノロジーの現代社会でも、宗教は様々な形で関与しており、一層複雑な問題を提起している。そこで、本講は宗教の根本的な構造を究明し、日本社会の、あるいは国際社会での宗教事情との対比を通して、仏教はどのように対応し、どのような問題解決への指針を示しているのか考えてみたい。仏教思想の有効性とその展望の一端を提示し、受講生諸君の自己実現のための一助として頂けるなら幸いである。

〔教科書〕『宗教学 I』（更生社） ¥1,950

〔参考書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

¥ 1,400

### 宗教学 I

末光 愛正

最初宗教に対する一般的な教養知識問題を概説する。次に我々と極めて密接でありながら、仏教の教義内容等に無関係であったと思われる諸君に、歴史的展開を踏まえながら判りやすく講義したい。

〔教科書〕『宗教学』（更生社） ¥ 1,950

### 宗教学 I

田上 太秀

前期は宗教としての仏教の思想と歴史をインドに限定して講義し、後期は宗教とは何かについて宗教学の立場から講義する。

〔参考書〕田上太秀著『禅の思想』（東京書籍）、『仏陀のいいたかったこと』（講談社）

### 宗教学 I

片山 一良

宗教とは何か？ その構造と機能とは何か、宗教が個人にそして社会にどう関わっているか、そうした事柄を我々の身近な例から明らかにしつつ、広く大人の人間学としての宗教学を考えてみたい。

〔参考書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗教学 I（再クラス）

岡部 和雄

前半では宗教とは何かという問題を現代のアクチュアルなテーマをとりあげて具体的に考えていく。また後半では仏教に的をしぼり、その基本的輪郭を明らかにしようと思う。

〔参考書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）、『仏教の歩んだ道 I』（東京書籍）

## 宗 教 学 I (再クラス)

奈 良 康 明

人間生活における宗教、仏教の意味の機能および構造を「宗教文化史」研究の枠組の中であきらかにしてゆきたい。出来るかぎり、現代の私たちの生活とのかかわりの中で諸テーマを考える。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 宗 教 学 II

永 井 政 之

宗教学Ⅰのあとを承け『禅』について、その歴史や思想を学びつつ、ますます複雑化する現代に宗教、就中、禅はどのような面での可能性を持ちうるのか。学生諸君とともに考えてみたい。

〔教科書〕『宗教学Ⅱ』（更生社）¥1,950

〔参考書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 宗 教 学 II

伊 藤 秀 憲

インドにおける禅定、中国での禅宗の成立と発展、そして日本への流伝（特に道元禅師とその門流を中心に）と言った、禅の歴史を通観し、そこに現われた禅匠たちの生き方から、禅の人生観・人間観等を考察したい。

〔教科書〕『宗教学Ⅱ』（更生社）¥1,950

## 宗 教 学 II

中 野 東 禅

大学における教養科目として、禅を学ぶことはどのような意義があるだろうか。それは、「自己をなろう」ことである。自己というとき、そこには、人間とは何か、人生とは何か、いのちとは何か、こころとは何か、といったような問題がすべて含まれている。そうした課題は現代社会では、生命科学や臓器移植、脳死、人間関係学など関連諸科学と関わりつつ、すべての人の人生の問題に重なって来ている。

禅をベースとしつつ、こうした人生学、生き方学を明らかにしてゆきたい。

〔教科書〕『宗教学Ⅱ』山内舜雄編（更生社）

¥1,950

## 宗 教 学 II

河 村 孝 道

日常的立場と宗教的立場における視点の相違について理解、禅仏教の立場の思想的理解、および宗教（禅）と人生との関り合いとそこからの種々の問題について考察する。

〔参考書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

『宗教学Ⅱ』（更生社）

## 宗 教 学 II

田 中 良 昭

宗教学Ⅰをふまえ、宗教としての禅にはいかなる特色があるかを講ずる。特に思想と実践面に留意したい。

〔参考書〕『宗教学ハンドブック』

## 哲 学

円谷裕二・湯浅正彦

人間は生れつき、知識の営みをするように定められている。人間のもつどんな知識でも思想を表わし、人間はその思想によって生きている。しかしわれわれの日常生活では、自分がどのような思想によって生きているのか自覚がない。それは、伝統的思想に支配されているからである。われわれが「よりよく生きる」ことを願うならば、一定の目標を定めなければならない。そのためには自覚した思想をもたなければならない。哲学は、古代から現代に至るまでの自覚された思想を研究し、さらにそれを自らの生きるための思想とするものである。また大学における学問研究の基礎知識にも努める。

〔教科書〕『哲学思想の歴史』（公論社）

## 論 理 学

片桐茂博・久保陽一・高橋久一郎

論理学は、正しく思考するためには「いかに思考すべきか」を教える科学である。ここでいう思考は、推理という型の思考である。われわれは、学問する場合はむしろのこと日常生活においても、たえず思考しているが、必ずしも正しく思考しているとはかぎらない。したがって、論理学によって正しく思考するための法則を学ばなければならない。さらに、現代の科学技術や電算機の基礎になっている論理法則の理解や習得をする。

〔教科書・参考書〕 その都度指示する。

## 倫 理 学

山下 太郎

倫理学は、われわれがいかに生き、何を行為すべきかを探究する学問である。つまり、人間の行為に関する哲学である。人間として正しい行為とか、真実の行為とか理性的行為といわれるものは、人生の原理（人生観）や世界の原理（世界観）に従った行為である。日常の人生観や世界観は、動揺して確実なものではないから、古代から現代にいたる主な哲学者たちの思想を研究して、各自の確実な人生観や世界観の獲得に努める。

〔教科書・参考書〕その都度指示する。

## 文 学

田 沢 英 蔵

日本の近代詩の詩想について解説する。随時、同時代の小説、評論、さらに近代以前の詩歌についても言及する。

〔教科書〕 追って指示する。

## 歴 史 学

木 槻 哲 夫

日本史上の問題点を、いくつか紹介しつつ、日本社会の発展について考察したい。教科書は特定しない。

## 歴 史 学

宮 本 由 紀 子

日本女性史について講義する。なかでも遊女に視点を置いて、古代から現代までのその歴史を述べる。

## 歴 史 学

野 呂 肖 生

現代人にとって歴史学を学ぶことはどのような意味があるのかを、身近な問題に素材を求めて考えてゆきたい。前むきに自ら追求しようという姿勢をのぞむ。

## 社 会 分 野

### 法 学 憲 法

竹 花 光 範

一年を二分し、前半は「法学」の講義、後半は「日本国憲法」の講義を行う。

〔教科書〕〔参考書〕講義の中で述べる。

### 法 学 憲 法

茂 野 隆 晴

平素の日常生活では意識することが少ないかもしれないが、人々は多様な法制度に囲繞されている。こうしたもとの、平穏な暮らしを営むことを願うならば、正しい法知識、法的素養を身につけることは必須の要件といっよい。

講義では前半において、わが国の法制の歴史的変遷、現代国家の仕組などを概観したうえで、現代法のもつ特色を述べ、後半は教養としての憲法を念頭におき、現行憲法の全般にわたる解釈を行なう。

教室には六法全書を持参すべきである。

〔教科書〕『法学概説』（芦書房）¥2,300

〔参考書〕適宜指示します。

### 法 学 憲 法

馬 越 道 夫

憲法・民法・刑法・商法・刑事訴訟法・民事訴訟法などの基本原理について講義をします。法律学は形而上学的・抽象的で極めて難解だという人がいます。然し現実に機能する法は極めて具体的な存在です。本講では法律学の理解を容易にするため抽象論ではなく、判例等具体的なケースを通じて法の機能ないし理念について講述したい。なお受講する者は必ず六法全書を持参すること。

〔教科書〕『新訂 法学概論』北島照明編（法学書院）

## 政治学

飯山 勇

本講義では、政治に関する一般的・基礎的知識の習得を目標としながら、高度に抽象化された政治学原論や深淵な政治学説の研究への入門的な役割を果たすように配慮したい。したがって、この講義では現代国家が直面しているもろもろの政治現象の理解に役立つ政治学的諸問題を提起し、それらについて論及する。

〔教科書〕 テキストについては、講義の際に知らせる。

## 政治学

上條 末夫

政治については、誰でもがある程度の知識をもっている。しかし、政治を理解している人はきわめて少ない。参加デモクラシーといわれる現代にあたっては、国民の政治意識や行動が政治を規定づける。参政権者として適正な政治判断と行動をするための基礎的な知識を体系的に理解できるような講義にしたい。

〔教科書〕 上條末夫ほか『基礎政治学』（北樹出版）

〔参考書〕 飯坂・堀江編『ワークブック政治学』（有斐閣）

## 社会学

橋爪 敏

社会学は様々な社会現象を研究対象とし、それを人間（個人）＝集団＝社会の相互のかかわりの中で考察してゆく社会科学の一分野である。

本講義においては、これら相互のかかわりを考えるに当たっての社会学独自の概念枠組に触れつつ、つとめて現代社会が当面する諸問題にかかわらせながら講義を進めてゆく予定である。

必読文献及び参考文献に関しては、講義内容の進行に則して具体的なテーマごとに別途指示する。

〔教科書〕 安藤・児玉編『新版 社会学概論』（学文社）

## 社会学

岩上 真珠

人間行動を社会との関連で理解するための基礎知識を修得することを旨とする。講義では、上記のテーマに対

し、関係、集団、組織、制度、システムといった諸点からアプローチしてみたい。

〔教科書〕 『現代社会学入門』（第2版）（有斐閣双書）

〔参考書〕 講義中、適宜指示します。

## 統計学

飯塚 仁之助

第I編 社会統計学の発達過程

第II編 社会統計理論

第1章 社会統計学の意義、第2章 統計集団、第3章 大数の法則、第4章 大量観察法

第III編 統計分析法

第1章 記述統計 第1節 平均、第2節 散布度、第3節 歪度、第4節 指数、第5節 相関

第2章 推測統計

## 地理学

宮口 侗 勉

日本が世界の中でどのような位置にあるかということから講義を始め、日本の土地利用の特徴、日本人の生活様式、日本人社会の性格などを、西アジアとの対比、国内各地の事例などから考えてゆきたい。

## 地理学

玉井 建 三

地表面は気候、地形、植物など自然が支配しており、それを、より快適な生活がおこなえるように、人間が常に休みなく加工してきたのが現在の地表面の状況である。したがって、人間の生活基盤を知るには、まず自然環境を理解することにある。更に自然と生活が時間的・空間的に、どのようにかかわりあってきたかという問題も無視できない。そこで、それらの内容に隣接科学を導入しながら論じてみたい。

## 文化人類学

加藤 正 春

文化人類学の基本的な概念、方法、課題等を講義する。具体的な事例をおおくあげながら、社会組織、宗教・儀礼・世界観その他の人類生活の諸側面を検討する。また、沖縄をふくむ日本の伝統的民俗社会と文化についても適宜紹介したい。

## 自然分野

### 自然科学概論

宇和川正人

自然環境と資源、とくに水資源、農林海洋、エネルギー資源の諸問題について解説する。あわせて、これら資源の開発利用と人類とのかかわりあいについて考察する。

〔参考書〕 その都度紹介する。

### 自然科学概論

吉野(漆原)和子

自然科学史、技術史を通じて、人間が自然へどのように働きかけてきたかを学ぶ。さらに現在、高度な科学、技術をもって自然に接することによって、どのような問題をかかえているかをも考察する。

〔教科書〕 なし、但しプリントを配布します。

### 自然科学概論

篠原正雄

実証に基礎を置きつつ世界の法則性を捕えようとする科学の方法は、自然を対象とする自然科学の歩みの中でまず確立されてきた。物理学・天文学などの諸分野の歴史を学ぶ中で、科学の方法をとらえることを目標とする。

〔教科書〕 未定

### 数 学

宮 寺 功

使用教科書『大学の数学』に従って、微分積分学の考え方の大要を簡潔、平易に解説する。

〔教科書〕 『改版 大学の数学』（東京教学社）

### 数 学

斉 藤 浩 三

科学、技術、産業、経済、社会などあらゆる分野において、膨大な量のデータが氾濫している。これらのデータを統計的手法によって整理・集約し、図表化することによって、はじめて情報として役に立つようになる。データの集計・整理、図表の作成、集団の特性、相関、分布、検定、標本調査などの基本事項について、例題を示して解説し、また随時演習も行う。

### 心 理 学

梅 田 敏 文

最近、「心の時代」という言葉がよく聞かれる。そして、この「心の時代」をどのように生きていくかが、現代青年のひとつの課題のように思われる。そこで、本講義では、心理学という枠組みから、「人とは何か」について共に考え、共に問う機会をつくっていきたい。また、心理学の中でも臨床心理学、人格心理学といった領域については、やや専門的な内容への深まりを持たせたいと考えている。

〔教科書〕 『心理学概説』（八千代出版）中村昭之編著  
¥1,500

〔参考書〕 『心の自己分析』（有斐閣）柴田出著  
¥1,300

### 心 理 学

重 野 純

心理学の基本的な問題を取り上げ、行動科学としての心理学的考え方を理解することを目的とする。授業は実験例の紹介を中心にして進める。取り上げる主な領域は、知覚・学習・動機づけ・パーソナリティなどである。

〔教科書〕 『心理学入門』（北樹出版）¥1,800

### 心 理 学

鈴 木 順 一

パーソナリティの理解と開発を中心として、心理学の基礎的な知識の学習を進めたい。この授業の単位を取るとは極めて難かしく、主体的学習意欲が望まれる。

〔教科書〕 『心理学概説』（八千代出版）¥1,400

## 心 理 学

園 田 健 司

人間の生命維持には生理的動的平衡が不可欠であるが、この平衡が意識下で処理しきれなくなると外界に働きかけることによって平衡を保とうとするための動因としての欲求が意識にのぼってくる。然し、現代のように

インベーション化し、複雑多岐に亘っている社会では、すべてその欲求を充足してくれるとは限らない。従って、人間は時には self control をすることによって社会に適応することになる。そのために、心理学は人間の有機的社会的側面をベースに心理的側面を考えていかねばならない。そこで、本講義はこのような生理的・心理的メカニズムをもった人間について、現代心理学が扱っている領域の面から各論的に講じてみたい。

〔教科書〕『心理学概説』（八千代出版）

## 外 国 語 科 目

### 英 会 話

T. C. Dean. Pratt

English conversation necessary for everyday life. Native speaker word-group sound. Also discussion on current life, Japan and the world. Each student is required to give a speech or tell a story. Original, Limit 5 Minutes.

# 保健体育科目(共通)

## 実技種目の概要及び指導教員名

### 一年次生種目(玉川校舎)

#### 室内球技(玉川体育館)

宮沢 栄作・光永 吉輝  
村松 誠・久保田洋一  
関本美津子

バレーボール、バスケットの基礎技術の習得とともに、ゲームにより、その競技を理解する。

服装：一般的運動服装，上履用シューズ

#### 体 操(玉川体育館)

竹 田 幸 夫

マット、鉄棒などを中心に、初心者を対象とした遊戯的内容から出発し、段階的に技を習得する。

服装：一般的運動服装，体操シューズが望ましい。

#### トレーニング(玉川体育館)

田中 佳孝・高森 秀蔵  
武藤 幸政

個人の体力差に応じたトレーニングプランを作成し、主に最新のトレーニング器械を使用した体力トレーニングを行う。このトレーニングの目的は体力の増進、内臓器官の強化である。

服装：一般的運動服装，上履用シューズ

#### 柔 道(玉川体育館)

光 永 吉 輝

初心者を対象として基本技能(受け身)、応用技能(投げの形)(固の形)等の練習を行う。服装は原則として柔道衣。

#### 剣 道(玉川体育館)

上 山 智 身

剣禅一致の精神に基き、初心者を対象として次の順序で実施する。

1. 基本動作
2. わざ
3. 懸り稽古，互格稽古
4. 試合稽古

服装・試験については最初の授業において説明する。

#### 空 手 道(玉川体育館)

大石 武士・高橋 俊介

拳禅一致の精神に基き、初心者を対象として下記の順序で実施する。

1. 基本技(空気を相手に、受、突、打、蹴技の反復練習)
2. 形(基本の受、突、打、蹴を合理的に構成したものを空気を相手に行う)
3. 護身術
4. 約束基本組手(基本技で取得した、受、突、打、蹴技を実際に相手をおいて行う簡単な約束した組手)

服装は原則として空手道衣着用のこと。

#### 相 撲(玉川体育館)

館 岡 儀 秋

基本技(攻の型・守りの型)の練習を主に、併せて応用技の習得を行い、心・技・体三則の本義を理解させる様指導する。

土俵マットを使用する。服装は海水パンツ等の上に相撲パンツを着用する。

#### 陸 上 競 技(玉川グラウンド)

森 本 葵

駒大式四種競技(100米，長距離，砲丸投，走高跳)

を行い、得点制とする。

服装はランニングパンツが望ましいが、普通のトレパンでも可。なお、スパイクの着用は原則として認めない。

#### ソフトボール（玉川グラウンド）

太田 誠・原山 良勁  
竹田 幸夫・幸前 芳孝

基本技能を中心として毎時間ゲームを行う。服装はトレシャツ、トレパン。グラブ、ミットは貸与する。

#### サッカー（玉川グラウンド）

秋 田 浩 一

基本技術を中心として練習し、毎時間ゲームを行う。服装はショートパンツと厚い靴下を着用すること。

#### ハンドボール（玉川グラウンド）

村 松 誠

パス、シュート等基本技術を中心にゲームを行う。服装は、トレシャツ、トレパン、運動靴を用意すること。

#### テニス（玉川グラウンド）

牧野 茂・田中 佳孝  
高橋 俊介・浅野 鉦世

ゲーム（ダブルス）中心の授業を行う。服装は、一般的運動服装（白のトレーニングパンツまたは短パンツが望ましい）とするが、靴はテニスシューズを用意すること。

#### 卓球（玉川校舎）

原山 良勁・宮沢 栄作  
村松 誠・秋田 浩一  
関本美津子・幸前 芳孝

ゲーム（シングル、ダブルス）中心の授業を行う。服装は体育時のもので良い。室内履シューズを用意すること。ラケットは貸与する。

#### 太極拳（玉川体育館）

大 石 武 士

太極拳の基本的な動きを習得し、精神・身体の健康を増進する。服装その他の注意は第一時限目に説明する。

#### ゴルフ（玉川グラウンド）

三幣 晴三・館岡 儀秋

ゴルフスイングの基礎技術の習得とともに、ゴルフで最も肝要とされるルールとマナーの基本的理解により、正しいゴルフの精神を身につける。服装は一般的運動服装とする。グローブは必ず着用すること。

### 実 技 教 場 案 内

玉川体育館・グラウンド・校舎：

世田谷区宇奈根1-1-1（学生手帳を参照）

TEL (709) 0717 保健体育部

### 再 履 修 生 種 目 （本校）

#### 室内球技（本校体育館）

三幣晴三・森本葵・竹田幸夫

基礎技術の習得と併せて、ゲームにより、その競技を理解する。（バレーボール、バスケットボール、その他）

服装：一般的運動服装、上履用運動靴。

太 極 拳（本校第二体育館）

大 石 武 士

太極拳の基本的な動きを習得し、精神・身体を健康を増進する。服装その他の注意は第一時限目に説明する。

剣 道（本校第二体育館）

上 山 智 身

剣道一致の精神に基づき、初心者を対象として実施する。服装・試験については最初の授業において説明する。

### 実 技 教 場 案 内

- (1) 本校体育館：本学内、男子更衣は三階東側スタンド（ステージに向い左側）。女子は三階西側の更衣室（ステージに向い右側）。  
TEL (418) 9517・9213 体育教員室
- (2) 本校第二体育館：本学内、相撲道場の隣、一階は柔道場、二階は剣道・空手道場。更衣室は各階にある。  
TEL (418) 9201 体育教員室

# 随 意 科 目

## 比較思想特講

窪 徳 忠

従来から私の考えている異なった文化が出会った場合、換言すれば、外来文化が伝来した場合、双方の文化の変化についての仮説をのべ、ついでその具体例として中国文化、とくに宗教の日本への伝来と受容について検討し、私の考えを検証しようと思う。

〔教科書〕 使用せず、私のノートとする。

〔参考書〕 『道教入門』（南斗書房）¥2,800 『中国宗教における受容・変容・行容』（山川出版社）¥4,200

## ドイツ語 F

栗 原 万 修

昨年につづきドイツと日本の民話をドイツ語で読みながら、さらにいろいろな資料を参考にして、民話の本質を考察したい。テキストおよび資料はその都度配布する（無料）。

## ドイツ語 FLL（初級）

松 本 洋 子

基本的な文型や語彙を身につけ、簡単な日常会話が出来るようにしていきたい。またビデオやテープを用いて、生きたドイツ語を聴きとる能力をつけていきたいと思う。

〔教科書〕 テキストはその都度配布するが、無料。

## ドイツ語 FLL（中級）

小 林 佳 世 子

一年次のドイツ語（IG, IR）を終えた者を対象に、ビデオテープ等の視聴覚教材を用いて様々な生きたドイツ語に触れ、聴き取り能力を高めること、また基本的な文型や語彙を身につけ、それを応用してドイツ語の表現力を養うことを主な目的とする。さらにドイツ語の背景にある風俗習慣や文化、歴史等にも目を向けるようにしたい。

〔教科書〕 適宜プリントを配布する。

## フランス語 F

小 玉 齊 夫

3年ほど前に、フランスの現代思想に関して、およそ1900年から1940年ほどまでの流れを、概略、辿ってきましたので、今年度は、その延長として、1950年代以降の思想（さまざまな領域での）の展開を眺め、把握を試みる予定です。教材・資料は、講義のたびに、適宜、指示しますが、解説書と原著とを併用します。フランス語の読解力は、あるにこしたことはありませんが、特にこだわりません。

## フランス語 FLL（初級）

松 岡 宏 一

“Le Français et la Vie”を教材として用いる予定です。スライド画面とテープの音とを併用して、基礎的な表現能力を養成したいと思います。会話は、音を真似ることから始められなければならないので、積極的に授業に参加し、フランス語を聞いたり話すことに慣れるようにして下さい。また、途中であきらめることなく、一年をとおして出席し、少しでも「フランス語」の中に入りこむことができるように、希望したいと思います。テキストは教場で配布します。

〔教科書〕 “Le Français et la Vie”

## フランス語 FLL（初級）

マドレーヌ・マルタン

“De Vive Voix”を教材とし、その第1課から、実用的なフランス語の会話練習をします。さまざまな状況に応じた表現に慣れ、基礎的なちからを養うことを目的とします。テキストは教室で配布します。

〔教科書〕 “De Vive Voix”

## フランス語 FLL (中級)

マドレーヌ・マルタン

初級クラスと同じ方法で、“De Vive Voix” の第5課から(履修学生の語学力によって多少の変更はあります)始めます。より一般的なフランス語会話の習得をめざします。

〔教科書〕 “De Vive Voix”

## 中国語 F

刈 間 文 俊

中国語を二年次まで学んだものを主たる対象とし、文学作品の講読を通してより上のレベルへの向上を目的とする。ここ数年來の新しい作品を選び、文学言語としての中国語の可能性をも考察したい。

〔教科書〕 教場にてプリントを配布する。

## 中国語 FLL (初級)

果 荃 英

中国語初級を終えたものを主たる対象とし、正確な発音をマスターし、やさしい中国語の会話を習得することを目的とする。視聴覚教材を使用して楽しく授業を進めたいと思う。

〔教科書〕 教場にて視聴覚教材のコピーを配布する。

## 中国語 FLL (中級)

羅 濛 明

中国語 FLL 初級を終えたもの、又は中国語を一年以上履修したものを対象とする。会話を中心として授業を進めます。映画、録音なども教材として使用します。

テキスト：必要に応じて、教場でプリントを配ります

## スペイン語 F

佐 藤 玖美子

本講座は、1・2年で習得した知識を更に発展、深化させることを目指すものです。特に読解力と作文力の養成に力を入れたいと思います。テキストとしては、ワシントン・アービングの“アルハンブラ物語”のスペイン語訳を予定しています。

## スペイン語 FLL (初級)

ホワン・ナバロ

初心者を対象に、スライドやビデオを見ながら、やさしい日常会話を勉強します。

## スペイン語 FLL (中級)

ホワン・ナバロ

前年度LL初級を終えたもの、またはそれと同等の学力を身につけているものを対象に、ビデオを見ながら、日常会話を勉強します。

## ロシア語 F

前期 杉山秀子・後期 岡沢 宏

本講座はロシア語初級課程を終えたものを主たる対象とする。ロシア語の読解力と表現力の養成を目標とする。名文といわれる様々なスタイルのロシア語の文章に接することにより、ロシア語のもつメリハリのある美しさと力強さを味わっていただきたいと思う。

〔教科書〕 教場にて指示します。

## ロシア語 FLL (初級)

タチャーナ・バリーソヴナ・野村

テキストに従いやさしいロシア語の日常会話を学習する。正しいロシア語の発音やイントネーションを練習し簡単なロシア語の表現力を身につけることを目的とする。

〔教科書〕 『ロシア語を話しましょう』を使用する。

## ロシア語 FLL (中級)

タチャーナ・バリーソヴナ・野村

初級課程で得た知識を土台に更にロシア語独特な生の言いまわしや、日常会話の平均的速度になれてもらい、自由な発話への第一歩となる様に心がけていきたい。

〔教科書〕 教場にて指示。

### 日本語 F (初級) (留学生対象)

前期 杉 山 秀 子  
後期 大 塚 純 子

本講座は昭和57年度に初めて設置された留学生のための日本語の随意科目である。日常生活における意志伝達にはさほど苦労しないが、若干こみいった内容の聴きとりや説明、正しい表記・用語法などに困難を感じている留学生諸君は是非受講されることが望ましい。なお、受講者の日本語のレベルもバラバラであると予想されるので、授業の最初に簡単なアンケートとテストに答えてもらい、その後に細目について詳しく説明する。授業では最新の日本語教育用のビデオやスライド等を駆使しつつ、現代生活に密着した正しい日本語を修得することを旨としていきたい。

〔教科書〕 面談の上決定します。

### 日本語 F (中級) (留学生対象)

大 塚 純 子

日本語 F の初級課程を終えたもの、あるいはそれと同等の学力を有する留学生を対象とし、日本語での発表能力や、表記・表現法をさらに高め、深化させていく。授業では適時、新聞・雑誌の読みあわせや、NHKの教養番組の聴きとり、ニュース解説、日本映画等のビデオ録画をとりあげて、偏りのない日本語の総合力を身につけることをめざしたい。

——一週間に一度は必ず小テストをし、レポートの提出を義務づけるので授業はなるべく休まないこと。

〔教科書〕 教場にて指示します。

## 基礎教育科目

### 経済学概説

大 石 雄 爾

資本主義社会は長い人類の歴史を経て生成・発展してきたものである。われわれの経済学では資本主義経済におけるさまざまな法則を学ぶことになるが、それにはまず資本主義社会の歴史上の位置づけを認識しておく必要がある。本講義では、資本主義にいたるまでの人類社会の発展について概説し、資本主義社会の運動法則の解明を課題としている経済学の性格について言及する。

〔教科書〕 金子ハルオ編『経済学の原理と歴史』  
(青木書店)

〔参考書〕 F. エンゲルス『空想から科学へ』国民文庫 (大月書店)

### 経済学概説

小谷野(阿部)弘

経済学とは何であるのか。「経済学」が学問として成立した時点以来、この学問はわたしたち人間(人口として現われている)と国家との関係を取り扱ってきた。この「人口」はわたしたち個々人の物質的生活を基盤として形成されている。個々人の立場からなれば「人口」であるが、社会としてみれば「国家」として、わたしたちは綜括されている。なぜそうなのか、わたしたちの物質的生活が、人間相互の、そして階級社会にあっては階級関係として展開し、国家として綜括され、さらに世界的に形成されているさまを「経済学」は考察の対象とするのである。講義は、第1部：経済学の方法について、第2部：労働と所有、第3部：国家、の体系をとる。

〔教科書〕『労働と所有——経済学の出発——』  
阿部 弘 (八千代出版)

〔参考書〕『空想から科学へ』国民文庫 (大月書店)

## 経済学概説

横山正彦

この講義では、経済学への入門として、資本主義の経済と経済学との最も基礎的な知識を与えることに努める。そして、資本主義そのものに固有の法則の基本性格と、資本主義における基本矛盾の問題とについての理解を明らかにしていく。本学図書館からもらった『読書案内』（私の執筆の部分）をぜひ繰り返し読んで欲しい。

〔教科書〕 大河内一男『経済学入門』（筑摩書房）

〔参考書〕 笹山京『貧困と人間』（笹山京著作集第三巻）（ドメス出版）

河上肇『貧乏物語』（岩波文庫）

# 専門教育科目

## 1年次必修科目（商学科）

### 会計学総論

加藤利安

企業会計について平易に解説したテキストを使用して講義する。講義のすすめ方や使用するテキストについては、最初の授業時に知らせる。

〔教科書〕 江村稔著『企業会計総論』（森山書店）

〔参考書〕 授業中、その都度掲げる。

### 会計学総論

中原章吉

「会計は企業の言葉である」といわれている。会計は「人間の社会的行動の一つである」ともいわれている。会計学はその会計という人間行動を対象とする知識の体系である。この科目では、その知識の体系のすべてについてその大要を紹介し、説明を加えていくと同時に、その基礎概念についても検討していくつもりである。

〔教科書・参考書〕 講義時間開始めに指示する

## 1年次選択科目（経済学科）

### 会計学総論

飯岡透

この講義は1年生を対象として、会計学の基礎的な理論と技術を総合的かつ体系的に教授することを目的としている。すなわち、前半では会計学の意義・役割・歴史などを概説したのち、会計の計算構造の基礎をなす複式簿記の原理と記帳技術を修得し、簡単な貸借対照表と損益計算書を作成する能力を養成する。ついで後半ではわ

が国の現行の企業会計制度、つまり商法会計制度、証券取引法会計制度および税法会計制度を概説し、併せて会計学の今後の課題として、インフレーション会計・国際会計・情報化社会における会計などを取り上げる。

本講義は2年生以上で履修する会計学関係の諸講座の前提科目となるものである。

〔教科書〕 長谷川・飯岡・佐藤共著『企業会計の基礎』（中央経済社） ¥2,900

〔参考書〕 同文館編『企業会計諸則集』（同文館） ¥1,500

### 会計学総論

長谷川 忠 一

企業の経営成績と財政状態を決算財務諸表に適正に計算表示することは、その企業と密接な利害関係をもつ者にとって非常に重要なことである。そこで本講座では、「一般に公正妥当と認められた会計処理の基準」を企業会計原則に従って平易に解説するとともに、財務諸表の作成方法や表示方法をはじめ、その開示制度や監査制度など現行会計制度の全般にわたって幅広く講述する。

〔教科書〕 長谷川・飯岡・佐藤共著『企業会計の基礎』（中央経済社） ¥2,900

〔参考書〕 長谷川忠一著『決算会計の理論と実務』（中央経済社） ¥2,200

## 2年次必修・選択科目

### 経済原論Ⅰ

大石雄爾

資本主義経済の一般理論について講義する。商品、貨幣、資本、賃金、利潤等の基本的な用語について詳しく解説する。とりわけ流通過程における諸現象や商業資本の運動については充分に理解できるよう時間をかけて講義してゆきたい。

〔教科書〕 島恭彦他編『新マルクス経済学講座Ⅰ』（有斐閣）

## 経済原論Ⅰ

小谷野(阿部) 弘

「資本と国家」のテーマで講義をすすめて行く。

内部：第1部 商品と資本

第2部 階級と国家

現在のわたしたちの生活の中で、一見「自由競争」に基づく価格競争や企業設立、国際貿易などが行なわれているかに見えるが、しかしまた日常的に「非自由」が叫ばれ「国家統制」がなされる。わたしたち「個人」の存在についてもそうである。これは「資本」がもっている本質からくるのであるから、今年度はこの点に焦点を当てて問題の解明を試みる。「国家資本」なども取扱っていきたい。

〔教科書〕 マルクス『直接的生産過程の諸結果』国民文庫(大月書店)、戸田武雄『現代資本主義と資本論』(白桃書房)

## 経済原論Ⅰ

横山 正彦

1. 経済学の主題と方法
2. 資本主義以前の生産様式
3. 商品生産。商品と貨幣
4. 資本と剰余価値。資本主義の基本的経済法則
5. 資本主義における賃銀
6. 資本主義蓄積の一般法則
7. 資本の循環と回転
8. 利潤と生産価格
9. 商業資本と商業利潤。貸付資本と利子
10. 地代理論
11. 社会総資本の再生産。経済恐慌
12. 独占資本主義の主要な特徴

〔教科書〕 無し。ノートによる。

## 経済原論Ⅱ

浅田 統一郎

本講義では、以下の順序に従って近代経済学の基礎知識を体系的かつ平易に解説する。

- I. ミクロ経済学
  1. 消費者行動の理論
  2. 生産・企業行動の理論
  3. 市場均衡の理論
  4. 不完全競争の理論
  5. 市場の失敗と公共財の理論
- II. マクロ経済学
  1. 国民所得決定の理論
  2. 財政・金融政策の効果

3. マクロ分配理論 4. 景気変動の理論

5. 開放体系のマクロ経済学

〔教科書〕 稲別正晴・伊代田光彦・植田正孝『現代経済学の基礎』(法律文化社)

〔参考書〕 M. カレツキ『資本主義経済の動態理論』(浅田統一郎・間宮陽介訳・日本経済評論社)

## 経済原論Ⅱ

浅野 克己

われわれの周辺に生起するごく日常的な経済問題を取り上げながら、その原因および対策を考える上で、方法となるべき経済学の諸理論を、できるだけ平易に解説してゆく予定です。したがって学生諸君は、新聞や雑誌にもよく目を通し、経済社会の現代的諸問題について強い関心と興味を持たれるよう希望します。授業は必ずしも通常の順序に従って、ミクロ理論とマクロ理論に分けて進めるという方法はとりませんが、最終的には経済学の基礎理論がマスターできるよう配慮します。

特定の教科書の代りに、若干の資料等を利用したいと思いますが、詳細は最初の講義の際説明します。

## 経済政策

石井 啓雄

この講義では、客観的過程たる経済過程と経済政策の主体たる国家の間の基本的関係をふまえて、第一に、資本主義社会における経済政策の展開を発展段階と関連づけて講義する。その上で第二に、主として日本の現実によりながら、現代における経済政策の主要問題について講義する。

講義はノートにより、口述を中心とするが、参考書・必読文献等については、最初の講義の際および講義の進行状況に応じて随時指示する。(6月中旬頃より11月中旬頃まで留学のため休講する予定なので12月冬休み時に補講を行う)。

## 経済史

永田 正臣

資本主義の成立・発展について、それが典型的になされたイギリスに基づいて講義を行う。資本主義は産業革命を画期として本格的に展開する。講義では産業革命に重点をおき、それに先行する発展段階において、産業革命成立の歴史的諸条件がどのように生成されるか、さらに産業革命を画期とする資本主義の質的变化について、

産業革命のおよぼした労働者への諸影響をふまえて話を進めたいと思う。なお日本との比較にも留意したいと考えている。

〔教科書〕 永田正臣編著『産業革命と労働者』（新刊）（ミネルヴァ書房）

〔参考書〕 永田正臣著『イギリス産業革命の研究』（ミネルヴァ書房） ¥2,400

## 商学総論

大吹勝男

戦後日本の流通近代化政策をみるとそこには二つの大きな柱が掲げられている。ひとつは、物的流通の近代化についてであり、もうひとつは商的流通の近代化についてである。前者は輸送を中心とした保管倉庫等についての問題であり、後者は、諸君等に最も身近にある大型店の問題である。そこで今年度は上述の政策およびそれが実行されることによってもたらされた今日の日本の商業構造の変化とそこに生成してきた諸問題について講義する。① 流通費用論 ② 商業資本論 ③ 戦後日本の流通政策 ④ 現代日本の商業

## 経営学総論

寺中良二

経営学には大別して企業論と管理論という二つの学問領域がある。

本年度の私の講義では、企業論の中でも、自主管理社会主義企業を中心としてその経済理論的側面について講義を展開する。資本主義企業、なかでも現代株式会社、それに社会主義国有企業については、自主管理社会主義企業との関連・対比によって講義のなかで触れたい。また管理論においては、全体主義批判の思想を根底にもつアメリカの経営学者ドラツカーの組織原理や労務管理などの所説に言及する。以上二つの領域ともに、経営学という学問が、人間の幸福に少しでも役立つらうればと思う。

## 2年次選択科目

### 統計原論

吉野紀

現代の統計学の基本は推測統計学にあるという認識に立って講義を進めてゆく。できるだけ多くの時間を帰帰分析の説明に当て、現実の経済現象から採られた経済データを用い、経済分析との接合に意を尽したい。いわば数量的経済分析の基礎ともいふべき内容を解くことになる。『白書』類や各種の公表されたペーパーに多用されている様々な帰式の理解と評価ができるようになれば、本講の目的の一部は達成されたといえるであろう。

〔教科書〕『現代統計解析』（芦書房）

### 商業史

山田勝

現代商業の生成・発展の歴史を、貿易を中心に講義する。特に商人（社）を中心にすえる。対象とする時代は西欧については16世紀以降、日本については19世紀中葉以降とする予定である。

〔教科書〕 山田勝『近代イギリス貿易経営史』（増補版）（創成社）¥2,300

### 簿記論

竹林代嘉

会計学総論を受講して、複式簿記の基本的な考え方を習得していることを前提に、授業を進めたい。複式簿記は会計学の技術的基礎であり、会計学に関心のある人は、是非受講することを勧める。授業では、問題集による練習を並行して行い、商工会議所の簿記検定試験2級程度まで進む予定である。

〔教科書〕『簿記テキスト』および『簿記問題集』（東京簿記教育協会編）

## 財務会計論

遠藤 孝

会計学は狭義には財務会計論を指す。いかえれば財務会計論は狭義会計学であり、会計学原理であるわけである。

一般に財務会計とは、企業活動—企業情報を、株主、債権者、労働組合など企業をとりまく利害関係者に報告・伝達する役割をはたす会計といわれている。この情報伝達の手段となるものが貸借対照表、損益計算書などの財務諸表であり、したがって財務会計論は財務諸表論としての性格をもっている。

いうまでもなく企業は社会的に重要な役割をはたしており、利害関係者も増大していて、社会性を高めている。したがってこれら企業の活動（情報）を伝達する財務会計についても、商法、税法、「企業会計原則」など種々の規制が加えられている。そしてこの社会的規制の内容によって財務会計の内容、性格は大きく変ることとなる。

この講義では、財務会計とは何か（その社会的意味・役割）、これを規制する企業会計制度の構造、役割、各国会計制度との比較、会計計算の構造、貸借対照表、損益計算書、連結財務諸表などの財務諸表の性格、内容などについて講義する。

参考書などは講義の最初の時間に発表する。

## 憲法

斉藤 寿

この講義は、憲法の「しくみ」と「はたらき」について、経済学部学生向きに、興味深い講義を続けながら、楽しく行ないます。

前期には、「人権の“しくみ”と“はたらき”」について、後期には、「統治の“しくみ”と“はたらき”」について、講義します。

これらの前・後期の講義は、一年を通じて、極めてユニークに、そして楽しい雰囲気の中で行なわれます。

〔教科書〕 拙著の中から、開講の際、選択・指定します。

## 民法一部

山崎 敏彦

民法のうち、総則、物権を対象とする。説明にあたっては、判決例をできるだけ多く示すなどにより、具体的理解が得られるよう努めたい。なお、聴講に際しては、小さなものでよいから、六法を必ず持参されたい。

〔教科書〕 我妻・有泉 『民法Ⅰ』（一粒社）

## 3・4年次選択科目

### 経済学史Ⅰ

福原好喜

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の生誕までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。

### 経済学史Ⅱ

有井行夫

マルクス経済学と近代経済学のそれぞれに前提される社会システム観の相違の発生を中心に次の内容でお話します。

- 第1章 経済学史の意義——現代経済学の課題と理論の「色眼鏡」の機能
  - 第2章 対象としての市民社会の特殊的性格
  - 第3章 理論「色眼鏡」の3つのパターン
  - 第4章 ヘーゲルからマルクスへ
  - 第5章 矛盾論的システムとしての『資本論』の世界
  - 第6章 マルクス体系の「色眼鏡」チェンジ——ヒルファディングとレーニン
  - 第7章 限界革命論の社会システム観
  - 第8章 現代資本主義論争の基本的性格
- 〔参考書〕 授業中に挙げる

## 価格理論

荒木勝啓

今年度は「利潤」と「利子」（および利潤率と利子率）の問題をメインテーマとする。一般均衡理論においては、（超過）利潤がゼロとなり、いわゆる正常利潤は、コストの中に含まれる。そうすることにより体系が閉じられるのであるが、しかしそのためこの経済の中に利潤なるものはないということになってしまう。そうした不可解な理論に対して、はたして利潤の存在を納得のいく形で説明しうる理論が存在するのだろうか。本年はこの問題をめぐって、例年と異なり、やや学説的に展開してみたい。

## 国民所得論

吉野紀

本講は現代マクロ経済理論の内容を経験的検証と具体的な政策への応用とに言及しつつ体系的に解説することを目的とする。主たる関心の対象は家計・企業等の集計部門であり、政府や海外部門を取り込んだ国民経済全体である。これら諸部門の経済活動水準がどのように決定され、また相互に影響し合うのかを解き明かすことによって、生きた経済現象を變貌して止まない姿としてとらえることができれば目的の過半は達成できたといえる。相互的関連の全体像を描くためにはIS-LM分析が教育的効果を依然持ち続けているので、早い時期にこれを扱い、徐々にこの枠を崩しながら現実の日本経済への応用力を高めてゆきたい。

## 景気変動論

西村允克

景気変動論の問題は、全体としての経済が好況と不況という現象を交替的かつ周期的に繰り返すことを説明することにある。現代景気変動論はGNPの変動として、これを把握、分析するから、マクロ経済学の基礎を受講者は十分に理解していることが必要である。そこで講義では、マクロ経済学の基礎を一応説明し、テキストを参照しながら、現代景気変動理論と景気変動の歴史的過程を説明する。テキストはあっても、テキストに従って講義を進めるのではなく、テキストは講義の補助であって、講義への出席がなければ、講義の充分なる理解はえられないであろう。

〔教科書〕 大谷龍造『経済変動論』〔近代経済学双書〕  
（同文館）

## 日本経済史

古庄正

日本経済史の研究対象は広範であるが、本年度は産業革命期の諸問題を中心に講義してみたい。

講義要綱

- (1) 産業革命の本質と類型
- (2) 帝国主義世界体制の確立と経済政策
- (3) 産業革命の展開とその特質
- (4) 産業構造と外国貿易
- (5) 地主制の確立
- (6) 労働者階級の成立と初期労働運動
- (7) 植民地圏の確保と帝国主義への転化
- (8) 天皇制国家の確立
- (9) 独占段階への移行

〔参考書〕 石井寛治『日本経済史』（東大出版会）  
¥1,900

## 経済地理

上坂修夫

経済地理は、経済諸現象の地域的分析を行う学問である。この講義では、経済現象をいかに地域に即して見るか、また、各地域をいかに全体の経済的構造の中で捉えるかという目を養うことをめざしながら、具体的な各地域の経済的变化と現状の分析を通じて経済現象の地域的構造について学習していく。特定のテキストは使用しないが参考文献についてはその都度指示する予定である。

## 国際経済論

徳永俊明

資本主義世界経済の歴史と第2次世界大戦後の資本主義世界経済の主要な問題についての基本的事項の解明、整理をめざします。講義内容はつぎのとおりです。

- I 資本主義世界経済の歴史（時期区分と各時期の特徴・歴史的位置づけ）
- II 第2次世界大戦後の資本主義世界経済（歴史的位置と基本構造、貿易、国際通貨制度、資本輸出—「援助」・多国籍企業、新植民地主義、「南北問題」と新国際経済秩序、資本主義世界経済の危機、日本経済と世界経済、その他）

〔教科書〕 土生・徳永・松下著『第3世界への視点』（大月書店） ¥1,500

〔参考書〕 柴田政利編著『現代国際経済論』（学文社） ¥2,000

## 農業政策

浅田 喬二

本年度は旧植民地（台湾，朝鮮，「満州」）における日本人土地所有の検討を行なう。日本人地主は植民地農村の民族的・階級的支配者であり，また，日本帝国主義が植民地を支配するための社会的支柱であった。講義の重点を，(i) 日本人の地主化過程，(ii) 小作制大農場の経営内容，(iii) 日本地主制の植民地型の特質，(iv) 日本農業と植民地農業の関係，(v) 日本ファシズムと農業・農民問題，(vi) 満州農業移民論，の解明に置く。

参考文献は講義の最初の時間に知らせる。

〔教科書〕 浅田喬二『日本帝国主義と旧植民地地主制』（御茶の水書房） ¥2,500

## 工業政策

劔持 通夫

戦前，戦後の世界主要産業の形成，構造，発展および衰退に関する歴史的，経済的諸条件と諸過程を明らかにし，その産業を動かす本質を学びながら，経済発展の法則を体系的に知るといふ工業経済論を主体とし，将来の産業構造の在り方を研究するものである。その講義内容は，第1章 工業経済の意義（産業経済の意義，産業構造，産業組織，市場構造，価格理論，寡占理論，産業理論）。第2章 世界主要産業の成立と発展。第3章 世界主要鉄鋼業の成立と発展。第4章 転換期の世界経済と産業構造の変化。以上を講義案によって実施するが，参考文献はその都度指示する予定である。

〔教科書〕 講義案による，授業始めに指示する。

〔参考書〕 劔持通夫『日本鉄鋼業の発展』（東洋経済出版）『日本の産業政策』（東大出版会）『企業戦略とテクノロジー』（東大出版会）

## 財政学

西村 紀三郎

- (1) 財政学の推移を概観し，その間の財政問題を解説して，当面する課題を提示する。現代の財政問題をどうとらえるかを中心課題とする。
- (2) 財政学で通常とりあげる原理，法則等を概説して，その現代的意義を再検討する。原理等は今も妥当か。
- (3) 財政活動の理論的整理把握のために，財政の現実体の理解につとめる。そのため財政の制度，歴史の説明と現状の解説（最近年度の予算内容等）を加える。
- (4) 上記の理解にもとづく財政政策の課題を明らかに

し，政策のあり方と政策理論の研究の重要性を示す。  
(5) 以上を要約すれば，伝統的財政学に対する新しい現代的財政学の探求を課題とすることになる。

〔参考書〕 『財政学新論』西村紀三郎著（税務経理協会）『財政学要論』肥後和夫編（有斐閣）

## 財政政策

里中 恆志

経済生活の中で公共部門の関与する比重は確実に増しつつある。近代経済学の発展とともに，財政学にもそれをとり入れたかたちでの財政理論が展開されてきた。そしてこれに基づく財政政策は重要な経済政策の一つになっている。財政政策が国民経済に機能するメカニズムについてその論理を検討するとともに，公共支出政策，公共収入政策についてそれらの基本的な理論及び基準を紹介し，現実の政策に対する判断力を養う。また国民が財政政策の意志形成に参加する方法は民主主義的手続きをおしてであるから，適切な政策の実現のために国民が財政をコントロールするルールとその制度の背後に作用し合う諸力について考察する。

〔参考書〕 G. シュメルダース『財政政策』（中央大学出版部）

中谷 巖『入門マクロ経済学』（日本評論社）

## 金融論

本間 靖夫

貨幣と銀行に関するあらゆる経済現象を科学的に解明する学問が金融論ですから，その対象は広範囲にわたりますが，今年の講義は以下の4点を中心的課題として行います。

- (1) 貨幣の理論と歴史
- (2) 近代的銀行の成立についての基礎理論
- (3) 銀行の業務と銀行制度
- (4) 銀行経営の理論と実際

〔参考書〕 講義中，適宜指示します。

## 国際金融論

斉藤 寿彦

外国為替および国際通貨の理論と歴史を中心として講義する。講義の内容は次のとおりである。

### I. 外国為替論

1. 外国為替の仕組（外国為替の定義と種類，外国為替銀行の業務）
2. 外国為替相場論（外国為替相場論の成立と展開）

## II. 国際金融市場論

1. 国際金融市場の機構
2. 各国際金融市場の構造

## III. 国際通貨論

1. 国際通貨の理論
2. IMF体制の成立と旧IMF体制の崩壊

〔参考書〕 渡辺佐平編著『マルクス金融論の周辺』  
(法政大学出版局) ¥3,200

## 銀行論

植田欣次

銀行論は、銀行経営の問題はもとよりのこと、金融論や様々な金融問題を考察する場合の基礎をなしている。こうした位置づけのもとに講義では以下の3点の課題について論述する。

- (1) 近代的銀行の成立とその役割についての理論的説明。
- (2) 銀行の主要業務の実際についての解説。
- (3) 日本における銀行合同はどのような歴史的過程を辿り今日に至っているか。

〔参考書〕 講義中、適宜指示する。

## 社会政策

光岡博美

本年度は、前年度と同様、日本労使関係発達史を中心とした講義を行うつもりであるが、特に戦後日本の労使関係の展開に中心を置きたい。そして、低成長下の日本の労使関係を展望するうえで高度成長期の労使関係のあり方を考えてみたい。各時期の労使関係を概説するというよりは、各々の時期に労使の争点となった問題を掘り下げていくことによって、その時期の労使関係に内在した諸問題が現代にどのような光と影を投げかけているか、といった側面から問題に迫っていくことにする。

〔参考書〕 隅谷・小林・兵藤著『日本資本主義と労働問題』(東大出版会)

## 労働経済論

山下不二男

労働経済の理論、現状分析を戦後の日本の変化に焦点をおいて説明する。講義は、1. 序論、2. 労働市場、3. 雇用と失業、4. 賃金の4つの分野に分けて行う。1では労働問題と労働経済学、労働経済学の体系などの序論的諸問題、2では労働市場の特徴と構造、労働組合と労働市場、日本の労働市場の特色など、3では労働力の供給、労働

需要、失業と雇用対策など、4では賃金水準の決定、賃金と生産性・物価、賃金と団体交渉、賃金構造、日本の賃金の特徴とその変化など、の問題が取扱われる。

〔教科書〕 山下不二男『日本労働経済概説』(日本労働協会) ¥1,700

## 中小企業論

三井逸友

日本の経済社会の多数を占める中小企業は、「底辺層」とも、「活力源」とも言われ、さらに最近では「ベンチャー・ビジネス」なる存在も脚光を浴びている。しかしその中小企業の存在を、科学的法則的に位置づけ、その実態と問題性を解明するには、俗論を排して、事実にもとづく理論の応用展開を図る必要がある。本講義では、こうした見地から、中小企業の現状を概観しながら、中小企業存立の理論、中小企業問題の検討、中小企業政策の性格と役割の解明を意図し、あわせて、中小企業問題と政策の国際比較、今日の中小企業経営の実情と課題もとり上げていきたい。

〔教科書〕 佐藤芳雄編著『ワークブック 中小企業論』(有斐閣)

〔参考書〕 中小企業庁編『中小企業白書』[各年次]、渡辺・前川編『現代中小企業研究 上下』(大月書店) 黒川俊雄編『現代労働の支配と変革』(労働旬報社)

## 人口論

森岡仁

経済学の立場から人口に接近しようとするのがこの講義の特徴である。現実の経済と人口との関係は歴史的にいつて人類がこの地球上に出現した時期にまで遡りうるわけで、従って経済学においても非常に早い時期から人口がとり入れられてきた。この講義では日本を含む世界全体の人口について、古くは人類の起源から、新しきは現在我々の眼前に展開する人口現象にまで論及し、その間、学としての経済人口学がどのような発展過程をたどってきたのかを詳論する。そして最後に、以上の論義をふまえて、人口政策を論ずる。

〔教科書〕 大淵寛・森岡仁『経済人口学』(新評論) ¥2,800

〔参考書〕 森岡仁・他『人口経済論』(新評論) ¥2,500

## 教育経済論

谷 敷 正 光

経済発展に教育の果たした役割とその意義について考察する。特に、本年度は、戦後日本資本主義発展と産業教育を中心に講義する予定である。

朝鮮戦争を契機に復活した日本独占資本の産業教育要求とそれに対応した政府の経済政策、教育政策を日本資本主義発展との関連で概観し、戦後の教育政策は国家、資本の要求にしたがってたえず変化し、支配化されていることを考察する。

〔教科書〕 最初の授業で指示する。

〔参考書〕 高浜介二『現代資本主義の発展と教育』（汐文社）

## 日本経済論

森 武 麿

日本における国家独占資本主義の成立と展開を歴史的に明らかにする。1920年代の独占資本主義の成立、1930年代の国家独占資本主義への移行、戦後改革、高度経済成長の過程を追い、現代資本主義の歴史的諸条件を考察する。これによって現代資本主義の強さと弱さ、労働者や民衆の生活の変化、日本の国家の特殊性がどのように形成されてきたのかをできるかぎりわかりやすく説明してみたい。

〔教科書〕 講義の中で指示する。

## アジア経済論

伊 藤 正 二

アジアは日本の貿易にとって最も重要な地域である。そこでは、今日資本主義が未曾有のスピードで発展し、経済構造が急変しつつある。その資本主義は、イギリスの資本主義とも、19世紀後半以降に台頭したドイツ、日本の「近代後進資本主義」とも異なるタイプのもので、「現代後進資本主義」と称されるべきものであろう。

その特性は、強力な先進資本主義の存在という条件に規定されつつ、一つには国家資本主義の発展、二つには財閥（早熟な独占資本）の発展である。

本講は、おもに後者の具体的様相を追求し、もって現代後進資本主義の性格を明らかにしてゆく。

〔教科書〕 伊藤正二編著『発展途上国の財閥』（アジア経済研究所） ¥800

〔参考書〕 授業中に随時示唆する。

## 中国経済論

小 杉 修 二

中国の人口は10億人である。即ち、世界の4人に1人が中国人である。この国は社会主義を標榜し、超大国たらんとする隣国であることによって、世界の中で一定の位置を占め、我国との関係も少なくないものがある。

本講義では中国のめざしてきたものと中国経済の実態について論じるが、本年度は、中国の社会主義建設が、ソ連モデル、毛沢東モデル、「中国モデル」と三転してきた、その各々の特徴について論ずる。また、それらのモデルが採用され、変遷してきた理由を ①中国の採用した国家目的、②歴史的条件、③地理学的条件、の3つの組合せとその変化から説明する。

〔教科書〕 開講時に指示する。

## アメリカ経済論

瀬 戸 岡 紘

現代資本主義世界の主柱としてのアメリカの経済事情をわかりやすく解説する。その方法は、現代アメリカ経済をできるだけひろい視野からとらえていこうとすることにある。たとえば、歴史的には植民地時代いらいの特徴を検出し、部門的にはあらゆる領域を考察の対象にしてみるとか、単にアメリカにかぎらず世界全体のなかでこの国を位置づけてみる、など。そうすることによってえられたアメリカ資本主義の現段階の特徴をもとにアメリカ金融資本の実態、いわゆる「多国籍企業」の動態、経済と国家や軍部との関係、労働者や民衆の生活の現状、日米経済関係などを再検討していく。さらに、アメリカ資本主義の世界史的地位についても吟味したい。なお、よりふかめて学習したい者は、私の原書講読とあわせて履修することをすすめる。

## ヨーロッパ経済論

清 水 卓

第2次大戦の戦後復興を1950年代の初頭に完了した西欧諸国は、冷戦体制下、50年代を通して「高度成長」を実現した。この繁栄局面は、57、58年不況を転機に、その成長の限界を露呈してくる。植民地体制の崩壊、ドル危機の深化、ベトナム戦争に象徴される戦後アメリカ体制の動揺という国際秩序の転回と共に、繁栄を続ける西欧「先進国」内部においても、インフレや高度成長に伴う社会的矛盾（公害、政治腐敗、離農、テロ等々）の累積によって、仏5月革命、伊69年暑い秋に示される社会

的動揺を必然化した。こうした「高度成長」の「栄光」と「挫折」の論脈の中で、戦後西欧資本主義国の経済と社会を分析する。

### ソヴィエト経済論

山 縣 弘 志

ソ連邦は第11次五カ年計画期に入っているが、社会主義経済の前途は平坦ではない。80年代の情勢とソ連経済60年の歴史は、我々に常に社会主義の原点に立ち帰り、科学的なアプローチを心懸けることを要求している。

〔教科書〕 講義の中で指示する。

### 商業政策

山 本 景 英

わが国の近代から現代にかけて、資本主義経済の発展にともなって、どのような商業政策がとられてきたのかを歴史的に跡づけ、それを踏まえて現代の問題点を明らかにしたい。

〔教科書〕 とくに使用しない。

〔参考書〕 講義のなかで指示する。

### マーケティング

曾 我 信 孝

現代日本のマーケティングを批判的な立場から考察する。講義の内容は次のとおりです。

1. マーケティング概念の検討（従来の概念の批判的検討）
2. マーケティング政策の検討（製品政策、価格政策、チャンネル政策、販売促進政策の批判的検討）
3. わが国の産業構造とマーケティング（特に最近海外市場開拓に著しい産業部門についての考察をする）

### 貿易論

古 沢 紘 造

現代資本主義論をふまえて、わが国の貿易・資本輸出の現状を分析し、日本資本主義の対外関係をより深く理解することに努める。戦後体制の解体と国際関係分断の危機をかかえこんだ今日の世界資本主義再編成の中で、日本資本主義はどのような対応をせまられているのか、またそれに伴っていかなる新たな矛盾が生じてくるの

か、を考えてみたい。なお参考文献については講義の進行にあわせて指示する。

### 証券市場論

柿 崎 暎 次

下記事項を中心に証券市場のメカニズムを説明する。

1. 株式、社債の発生
2. 国民経済と証券市場
3. 証券市場発展の経過
4. 株式市場（発行、流通）
5. 公社債市場（発行、流通）
6. 証券取引所
7. 証券会社
8. 投資信託
9. 企業内容の開示
10. 証券金融

〔教科書〕 『図説 日本の証券市場』（財経評報社）

〔参考書〕 上林正雄『証券市場論』上、下（千倉書房）

### 保険論

石 名 坂 邦 昭

保険はわれわれの経済生活になくはならない経済施設であり、その歴史は古く、企業活動や家計経済と深く結びついている。保険は企業危険の移転策として、機関投資家として、さらには家計の安定をはかるものとして広く活動している。本講義においては保険の本質、保険の意義、保険の歴史を把握し、さらに生命保険、損害保険、社会保険等につきわしくみて行くことにより経済学の一科としての保険、さらには経営学の一科の保険を明確にして行きたい。

〔教科書〕 『講案保険総論』（法律文化社）柿崎他  
¥2,200

### 交通論

石 井 彰 次 郎

交通の概念より始めて、資本主義経済の下における交通をめぐる諸問題の理論的・歴史的解明をする。

〔教科書〕 『企業規制論』（白桃書房）

## 商品学

塚原 博

商品学の対象，研究方法から始め，商品学の歴史，商品の分類，商品の品質，鑑定，貿易と商品，商品と関税，商品と法律等を論じ，企業における商品政策（特に新製品の開発と技術・特許・ノウハウ・商標などの諸問題）を述べ，更に消費者の立場から見た商品について考察する。次に個々の商品について——食系商品・衣系商品・住系商品・化学商品・機械商品（家庭電器，コンピューター，自動車，工作機械，産業機械など），重要輸出入商品，先端技術商品（ニューセラミックス，形状記憶合金，アモルファス合金，超電導材料，高分子材料，複合材料，光ファイバー，新加工食品など）を実例によって具体的に学んでゆく。

〔参考書〕 上坂西三『商品学概論』（同文館）

## 経営管理論

百田 義治

一般的には，経営管理とは経営目的達成のための経営者の実践活動それ自体であり，具体的には〈計画・指導・統制〉の機能，そのための〈技術・準則・手法〉が経営管理の内容であるとされている。しかし，我々にとって経営管理論を学ぶ意義は，経営管理の技術・技法それ自体を学ぶだけではなく，現代企業におけるその歴史的，社会的特質の解明，その意義と限界を学びとることである。したがって，本講義の課題も，生産，販売，財務，人事・労務，事務などの諸部門管理と最高管理（トップ・マネジメント）で形成される現代企業の経営管理の構造と機能を現代資本主義の特質との連関において科学的に把握することにある。

## 労務管理

菅野 康雄

主として企業内において多角的な行動をする「人間」の問題を対象とする。その柱となる主たる問題は，人事管理，人間関係および労使関係である。労働科学，労働経済，人間工学等の諸科学からのアプローチも重視し，かつわが国の現実の諸問題や事例をとり上げながら以下の諸項目を中心として講述したいと思う。

1. 労務管理の目的と対象
2. 労働市場と雇用問題
3. 賃金・報酬問題
4. 労働時間

## 5. 人間関係

## 6. 労使関係

〔教科書〕 開講時に指示する

〔参考書〕 菅野康雄著『経営労務管理論』（杉山書店）

同上 『経営者報酬制度』（千倉書房）

同上 『経営者報酬制度の発達と構造』（千倉書房）

## 原価計算論

加藤 利安

本年度は我国の『原価計算基準』の内容を中心にし，原価計算の目的，役割，機能について講義するつもりである。また，その際に原価計算の発達や展開についてもできるだけふれることとする。

〔教科書〕 諸井勝之助著『原価計算講義』（東大出版会）

〔参考書〕 授業中，その都度，掲げる。

## 会計監査論

飯岡 透

監財務諸表監査の目的は企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて監査人が意見を表明することであり，企業規模の拡大及び企業活動の複雑化に伴い，近年その役割はますます重要になっている。

本講義では，わが国をはじめ，英・米・西独の監査制度，監査役・会計監査人，監査証拠，個別財務諸表・連結財務諸表・中間財務諸表の監査手続，監査報告書などについて教授する。

さらに，営業報告書，後発事象，粉飾決算などについても言及したい。

〔教科書〕 『株式会社会計監査論』飯岡透（創成社）  
¥2,900

〔参考書〕 『会計監査講義必携』飯岡透編（創成社）  
¥490

## 管理会計論

中原 章吉

会計学とは何かという考察の上で管理会計が財務会計との関連のうえでどのように位置づけられるのか。そして，管理会計とはどのような基礎のうえに成立しているものなのかを検討することから始めて，管理会計の内容に入っていく。とくにこの講義では企業における財務諸

表分析と付加価値会計を内容としてとりあげていく。OAやメカトロニクスそして産業用ロボットによって第2の産業革命がさげばれているわが国の企業経営の中で、会計は、そして付加価値会計はどのように対応していくのか。また、欧米など諸外国の企業経営の中での会計の現状や歴史と、わが国との関連も考慮に入れて講義を展開していきたい。

〔教科書〕 中原章吉著『企業付加価値会計論』（中央経済社、昭和59年）

〔参考書〕 学年始めに指示する

## 税務会計論

長谷川 忠 一

わが国では現在、申告納税制度が行われているので、納税義務があるものは、すべて税法を理解し、自らの課税所得と税額を正確に計算納付しなければならない。そこで本講座では、株式会社を中心とした税務上の所得計算原理を講述するとともに、それに関連する企業会計や商法計算規則なども併せて説明し、総合的な見地から近代税務会計の理論を探究する。したがって、本講座の選択者は、簿記学と会計学を履修した者か、又はそれらの併行履修者に限る。

〔教科書〕 長谷川忠一著『税務会計の基礎知識』（同文館） ¥2,800

〔参考書〕 長谷川忠一著『税務会計入門』〈15訂版〉（同文館） ¥2,700

## 民法二部

鶴 井 俊 吉

民法二部は、民法のうち債権法を対象とする。

およそ、人は一日たりとも物資を利用しないではいられないが、債権はその物資獲得の手段たる権利である。われわれの日常生活において、すべての財貨が商品として取り扱われ、この商品たる財貨の交換も、すべて契約という法的形式によらざるをえない。したがって、現代においては、債権とその発生原因としての契約とが、私法制度のなかできわめて重要な位置をしめることになる。そこで、本講義では、契約の理論を中心に、主要な原理、原則を理解できるように、できる限り具体的な事例をあげて解説する予定である。

〔教科書〕『財産法入門』中川善之助・他著（一粒社）

## 商法一部

荒 木 正 孝

本講義は、商法総則および会社法を対象とするが、なかでも、現代資本主義社会において我々の経済生活に大きな影響を与えている株式会社制度について、その生成、機能、構造等その私法的側面を規制する株式会社法の基本原則の解説に多くの時間をあてるつもりである。

〔教科書〕『商法総則・会社法(上)』荒木正孝

## 商法二部

関 口 雅 夫

商法二部は、商法学のうち、「商行為法」および「手形小切手法」を、主要な対象としている。

本講座は、平易を旨とし、商法Ⅱを、論理体系的にかつ判例を通じて実践的に理解し、その基礎的知識の修得を目的とする。

〔教科書〕 野津 務『商法講義』〔商行為法〕（中央大学生協出版局刊）

野津 務『商法講義』〔手形法・小切手法〕（中央大学生協出版局刊）

## 労働法

深 谷 信 夫

社会的変動のなかで、労働法理論にもさまざまな問題が提起されてきている。その結果、従来の理論的な枠組み自体が検討の対象となってきている。

こうした内容を、現に生じている具体的な紛争例などを素材として、考えていきたい。

講義内容は、「個別的労使関係」と「集団的労使関係」との両者をふくむ。

〔教科書〕 外尾健一著『新版／労働法入門』（有斐閣双書） ¥1500

〔参考書〕『労働法の争点』〈ジュリスト増刊／法律学の争点シリーズ7〉 ¥1200

## 経済法

江 上 勲

資本主義が高度化した段階の国民経済は、極度に多様化・分業化した機能を持つ経済主体間の調和は、古典的自由放任主義の経済政策では自動的に達成しがたくなる。経済法は、このような経済社会のなかで基本的に市























































